

注3

大学番号：私立124

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

明星大学 心理学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明星学苑

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 教務ユニット

職名・氏名 キョウム 教務ユニットリーダー クマガイ タカシ 熊谷 孝

電話番号 042-591-5212

（夜間） 042-591-5212

F A X 042-591-5940

e-mail gad-eduml@ml.meisei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

<心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	61
7. その他全般的事項	62

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明星学苑

(2) 大学名

明星大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒191-8506
東京都日野市程久保2丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ モトカズ) 吉田 元一 (平成24年11月22日)		
学長	(オオハシ トモヒロ) 大橋 有弘 (平成26年4月1日)	(オチアイ カズヤス) 落合 一泰 (令和2年4月1日)	前任者の任期満了のため、 令和2年4月1日に変更(2)
学部長	(サカイ アツシ) 境 敦史 (平成29年4月1日)	(イシイ タカヨシ) 石井 雄吉 (令和2年4月1日)	前任者の副学長就任に伴い、 令和2年4月1日に変更(2)
学科長等	(コヌキ サトル) 小貫 悟 (平成29年4月1日)	(ハヤシ ミキヤ) 林 幹也 (令和2年4月1日)	前任者の任期満了のため、 令和2年4月1日に変更(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 心理学科 学士（心理学）	文学関係	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 (-) [-]	—	120 (-) [-]	—	120 (-) [-]	—	120 (-) [-]	—	1.09倍	—倍	
志願者数	1196 (-) [1]	—	1466 (-) [-]	—	1820 (-) [-]	—	1680 (-) [10]	—			
受験者数	1143 (-) [1]	—	1408 (-) [-]	—	1760 (-) [-]	—	1603 (-) [8]	—			
合格者数	360 (-) [0]	—	262 (-) [-]	—	268 (-) [-]	—	283 (-) [0]	—			
B 入学者数	140 (-) [0]	—	129 (-) [-]	—	130 (-) [-]	—	127 (-) [0]	—			
入学定員超過率 B/A	1.16		1.07		1.08		1.05				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [-] (-)	0 [-] (-)	129 [-] (-)	0 [-] (-)	130 [-] (-)	- [-] (-)	127 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		138 [-] (-)	0 [-] (-)	143 [-] (16)	- [-] (-)	143 [-] (15)	- [-] (-)	
3年次			/		/		115 [-] (-)	- [-] (-)	121 [-] (7)
4年次	/						/		/
計			140 [-] (-)	267 [-] (-)	388 [-] (16)	503 [-] (22)			

・令和2年5月1日 公表

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	140 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、進路変更(1人)
平成30年度	267 人	9 人	平成29年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、進路変更(1人)、除籍(4人)
			平成30年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、就職(1人)
令和元年度	388 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	503 人	10 人	平成29年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)、家庭の事情(1人)、除籍(2人)、その他(1人)
			平成30年度	2 人	0 人	除籍(2人)
			令和元年度	1 人	0 人	家庭の事情(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
合計		21 人		21 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{140} = \boxed{1.42} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{267} = \boxed{3.37} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{388} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{503} = \boxed{1.98} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	自立と体験1	1前	2			2							
	哲学1	1前		2								1	
	哲学2	1後		2								1	
	倫理学1	1前		2								1	
	倫理学2	1後		2								1	
	論理学1	1前		2								1	
	論理学2	1後		2								1	
	宗教学1	1前		2								1	
	宗教学2	1後		2								1	
	美学1	1前		2								1	
	美学2	1後		2								1	
	心理学1	1前		2								1	
	心理学2	1後		2								1	
	教育学1	1前		2								1	
	教育学2	1後		2								1	
	倫理学3	2前		2								1	
	倫理学4	2後		2								1	
	美学3	2前		2								1	
	美学4	2後		2								1	
	哲学3	2前		2								1	
	哲学4	2後		2								1	
	思想への招待	1前		2								1	
	健康・スポーツ科学論	1前後	2									3	
	健康・スポーツ演習1	1前後	1									7	
	健康・スポーツ演習2	2前後		1								7	
	健康・スポーツ演習3	3前後		1								7	
	健康・スポーツ演習4	4前後		1								7	
全学共通科目	外国語(英語)1A	1前		1								5	
	外国語(英語)1B	1前		1								5	
	外国語(英語)2A	1後		1								5	
	外国語(英語)2B	1後		1								5	
	外国語(ドイツ語)1A	1前		1								1	
	外国語(ドイツ語)1B	1前		1								1	
	外国語(ドイツ語)2A	1後		1								1	
	外国語(ドイツ語)2B	1後		1								1	
	外国語(フランス語)1A	1前		1								1	
	外国語(フランス語)1B	1前		1								1	
	外国語(フランス語)2A	1後		1								1	
	外国語(フランス語)2B	1後		1								1	
	外国語(中国語)1A	1前		1								1	
	外国語(中国語)1B	1前		1								1	
	外国語(中国語)2A	1後		1								1	
	外国語(中国語)2B	1後		1								1	
	外国語(韓国語)1A	1前		1								1	
	外国語(韓国語)1B	1前		1								1	
	外国語(韓国語)2A	1後		1								1	
	外国語(韓国語)2B	1後		1								1	
	日本語1A	1前		1									1
	日本語1B	1前		1									1
	日本語2A	1後		1									1
	日本語2B	1後		1									1
	情報リテラシーa	1前		2									1
	情報リテラシーb	1後		2									1
	言語学1	1前		2									1
	言語学2	1後		2									1
	言葉の思想	1前		2									1

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	自立と体験1(大学生生活の基盤をつくる)	1前	2					1					1
	哲学A	1前		2									1
	哲学B	1後		2									1
	倫理学A	1前		2									1
	倫理学B	1後		2									1
	論理学A	1前		2									1
	論理学B	1後		2									1
	宗教学A(未開講)	1前		2									1
	宗教学B	1後		2									1
	美学A	1前		2									1
	美学B	1後		2									1
	心理学A(未開講)	1前		2									1
	心理学B	1後		2									1
	教育学A	1前		2									1
	教育学B	1後		2									1
	生命と自然の倫理A	1前		2									1
	生命と自然の倫理B	1後		2									1
	哲学から考える世界	2後		2									1
	哲学から考える人間	2前		2									1
	21世紀の世界を考える	1前後		2									4
	健康・スポーツ科学論(未開講)	1前後	2										6
	健康・スポーツ実習A(未開講)	1前後		1									6
	健康・スポーツ実習B(未開講)	1前後		1									6
全学共通科目	英語1A	1前		1									5
	英語1B	1前		1									10
	英語2A	1後		1									5
	英語2B	1後		1									10
	ドイツ語1A	1前		1									2
	ドイツ語1B	1前		1									2
	ドイツ語2A	1後		1									2
	ドイツ語2B	1後		1									2
	フランス語1A	1前		1									2
	フランス語1B	1前		1									2
	フランス語2A	1後		1									2
	フランス語2B	1後		1									2
	中国語1A(未開講)	1前		1									2
	中国語1B(未開講)	1前		1									2
	中国語2A	1後		1									2
	中国語2B	1後		1									2
	韓国語1A	1前		1									2
	韓国語1B	1前		1									2
	韓国語2A	1後		1									2
	韓国語2B	1後		1									2
	日本語1A	1前		1									1
	日本語1B	1前		1									1
日本語2A	1後		1									1	
日本語2B	1後		1									1	
情報の活用と倫理(未開講)	1前		2										1
言語学A	1前		2										1
言語学B	1後		2										1
世界のことばと文化を知る	1前		2										5

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	科学コミュニケーション論	1前	2								1
	映画と音楽で学ぶ英語	1前	2								1
	異文化体験	1前	2								1
	異文化で学ぶ英語	1後	2								1
	外国語(英語)3A	2前	1								5
	外国語(英語)3B	2前	1								5
	外国語(英語)4A	2後	1								5
	外国語(英語)4B	2後	1								5
	外国語(ドイツ語)3A	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)3B	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)4A	2後	1								1
	外国語(ドイツ語)4B	2後	1								1
	外国語(フランス語)3A	2前	1								1
	外国語(フランス語)3B	2前	1								1
	外国語(フランス語)4A	2後	1								1
	外国語(フランス語)4B	2後	1								1
	外国語(中国語)3A	2前	1								1
	外国語(中国語)3B	2前	1								1
	外国語(中国語)4A	2後	1								1
	外国語(中国語)4B	2後	1								1
	外国語(韓国語)3A	2前	1								1
	外国語(韓国語)3B	2前	1								1
	外国語(韓国語)4A	2後	1								1
	外国語(韓国語)4B	2後	1								1
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	上級英語1	3前	1								1
	上級英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	3前	1								1
	上級ドイツ語2	3後	1								1
	上級フランス語1	3前	1								1
	上級フランス語2	3後	1								1
	上級中国語1	3前	1								1
	上級中国語2	3後	1								1
	上級韓国語1	3前	1								1
	上級韓国語2	3後	1								1
	上級英語3	4前	1								1
	上級英語4	4後	1								1
	上級ドイツ語3	4前	1								1
	上級ドイツ語4	4後	1								1
	上級フランス語3	4前	1								1
	上級フランス語4	4後	1								1
	上級中国語3	4前	1								1
	上級中国語4	4後	1								1
	上級韓国語3	4前	1								1
	上級韓国語4	4後	1								1
	日本事情1	1前	2								1
	日本事情2	1後	2								1
外国事情1	1前	2								1	
外国事情2	1後	2								1	
日本の文学1	1前	2								1	
日本の文学2	1後	2								1	
外国の文学1	1前	2								1	
外国の文学2	1後	2								1	
文化人類学1	1前	2								1	
文化人類学2	1後	2								1	
人文科学論1	1前	2								1	
人文科学論2	1後	2								1	
日本史1	1前	2								1	
日本史2	1後	2								1	
西洋の歴史と文化1	1前	2								1	
西洋の歴史と文化2	1後	2								1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	科学コミュニケーション論(未開講)	2前	2								1
	海外語学研修A	1集中	2								5
	グローバル時代の英語	2後	2								1
	英語3A	2前	1								5
	英語3B	2前	1								7
	英語4A	2後	1								5
	英語4B	2後	1								7
	ドイツ語3A	2前	1								2
	ドイツ語3B	2前	1								2
	ドイツ語4A	2後	1								2
	ドイツ語4B	2後	1								2
	フランス語3A	2前	1								2
	フランス語3B	2前	1								2
	フランス語4A	2後	1								2
	フランス語4B	2後	1								2
	中国語3A(未開講)	2前	1								2
	中国語3B(未開講)	2前	1								2
	中国語4A	2後	1								2
	中国語4B	2後	1								2
	韓国語3A	2前	1								2
	韓国語3B	2前	1								2
	韓国語4A	2後	1								2
	韓国語4B	2後	1								2
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	実践英語会話1	3前	1								1
	実践英語会話2	3後	1								1
	中級ドイツ語1	3前	1								1
	中級ドイツ語2	3後	1								1
	中級フランス語1	3前	1								1
	中級フランス語2	3後	1								1
	中級中国語1	3前	1								1
	中級中国語2	3後	1								1
	中級韓国語1	3前	1								1
	中級韓国語2	3後	1								1
	実用資格英語1	3前	1								1
	実用資格英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	4前	1								1
	上級ドイツ語2	4後	1								1
	上級フランス語1	4前	1								1
	上級フランス語2	4後	1								1
	上級中国語1	4前	1								1
	上級中国語2	4後	1								1
	上級韓国語1	4前	1								1
	上級韓国語2	4後	1								1
	日本事情A	1前	2								1
	日本事情B	1後	2								1
	外国事情A(アジア)	1前後	2								1
外国事情B(欧米)	1後	2								1	
日本の文学A	1前	2								1	
日本の文学B	1後	2								1	
外国の文学A(アジア)(未開講)	1前	2								1	
外国の文学B(欧米)(未開講)	1前	2								1	
文化人類学A(未開講)	1前	2								1	
文化人類学B	1後	2								1	
表象文化論	2前	2								1	
舞台芸術を読み解く	1後	2								1	
日本史A(前近代)	1前	2								1	
日本史B(近代)	1後	2								1	
西洋の歴史と文化A(古代・中世)	1前	2								1	
西洋の歴史と文化B(近現代)	1後	2								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	中国の歴史と文化1	1前	2								1
	中国の歴史と文化2	1後	2								1
	考古学1	1前	2								1
	考古学2	1後	2								1
	日本の芸能1	1前	2								1
	日本の芸能2	1後	2								1
	日本民俗学1	1前	2								1
	日本民俗学2	1後	2								1
	自然科学史	1前	2								1
	図像学	1前	2								1
	人文科学論3	2前	2								1
	人文科学論4	2後	2								1
	日本史3	2前	2								1
	日本史4	2後	2								1
	社会の仕組みと人間の営み1	1前	2								1
	社会の仕組みと人間の営み2	1後	2								1
	法学1	1前	2								1
	法学2(日本国憲法)	1後	2								1
	現代政治を読み解く1	1前	2								1
	現代政治を読み解く2	1後	2								1
	社会科学論1	1前	2								1
	社会科学論2	1後	2								1
	国際関係論1	1前	2								1
	国際関係論2	1後	2								1
	21世紀経済への視点1	1前	2								1
	21世紀経済への視点2	1後	2								1
	グローバル時代の経営1	1前	2								1
	グローバル時代の経営2	1後	2								1
	情報社会文化論1	1前	2								1
	情報社会文化論2	1後	2								1
	生涯学習論1	1前	2								1
	生涯学習論2	1後	2								1
	図書館の基礎と展望	1前	2								1
	社会に生きる私たちの人権	1前	2								1
	女性の生き方	1後	2								1
	地図を読む	1前	2								1
	ボランティア論	1前後	2								1
	情報法制論	2前	2								1
	地球惑星学1	1前	2								1
	地球惑星学2	1後	2								1
	科学技術論1	1前	2								1
	科学技術論2	1後	2								1
	統計学1	1前	2								1
	統計学2	1後	2								1
	基礎数学1	1前	2								1
基礎数学2	1後	2								1	
生物学1	1前	2								1	
生物学2	1後	2								1	
物理学1	1前	2								1	
物理学2	1後	2								1	
化学1	1前	2								1	
化学2	1後	2								1	
自然科学入門1	1前	2								1	
自然科学入門2	1後	2								1	
生物学3	2前	2								1	
生物学4	2後	2								1	
人類と環境	2前	2								1	
特別講義1	1前	2								1	
特別講義2	1前	1								1	
特別講義3	1後	2								1	
特別講義4	1後	1								1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	東アジアの歴史と文化A	1前	2								1
	東アジアの歴史と文化B	1後	2								1
	考古学A	1前	2								1
	考古学B	1後	2								1
	日本の芸能A	1前	2								1
	日本の芸能B	1後	2								1
	民俗学A(未開講)	1前	2								1
	民俗学B	1後	2								1
	技術・科学史	2前	2								1
	図像学A	1前	2								1
	音楽といきる(未開講)	1前	2								1
	美術を読み解く	1前	2								1
	日本の歴史と文化A	2前	2								1
	日本の歴史と文化B	2後	2								1
	現代社会の仕組みA	1前	2								1
	現代社会の仕組みB	1後	2								1
	法学A(未開講)	1前	2								1
	法学B(日本国憲法)	1後	2								1
	現代政治A	1前	2								1
	現代政治B	1後	2								1
	社会科学論A	1前	2								1
	社会科学論B	1後	2								1
	国際関係論A	1前	2								1
	国際関係論B	1後	2								1
	現代経済への視点A	1前	2								1
	現代経済への視点B	1後	2								1
	グローバル時代の経営A	1前	2								1
	グローバル時代の経営B	1後	2								1
	情報社会文化論A(未開講)	1前	2								1
	情報社会文化論B	1後	2								1
	生涯学習論A	1前	2								1
	生涯学習論B	1後	2								1
	図書館の基礎と展望	1前	2								1
	社会に生きる私たちの人権A(未開講)	1前	2								1
	ジェンダーを考えるA(未開講)	1前	2								1
	多摩を歩く	1前後	2								1
	ボランティア論	1前後	2								1
	情報法制論	2前	2								1
	地球惑星学A	1前	2								1
	地球惑星学B	1前	2								1
	科学技術論A	1前	2								1
	科学技術論B	1後	2								1
	統計学A	1前	2								1
	統計学B	1後	2								1
	数学A	1前	2								1
数学B	1後	2								1	
生物学A	1前	2								1	
生物学B	1後	2								1	
物理学A	1前	2								1	
物理学B	1後	2								1	
化学A	1前	2								1	
化学B	1後	2								1	
自然科学A	1前	2								1	
自然科学B	1後	2								1	
人類とその環境(未開講)	2前	2								2	
自立と体験2(社会の課題と出会う)	1後	2								4	
多摩と生活	1後	2								4	
多摩と自然	1後	2								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目													
	小計(181科目)	-	9	279	0	2	0	0	0	0	77		
	全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後			2						3	
		自立と体験4	3前			2						3	
		ボランティア実践1	2前			1						1	
		ボランティア実践2	2後			1						1	
		キャリアデザイン1	1後			2						2	
	キャリアデザイン2	2後			2						1		
	小計(6科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	4		
	学科科目	自立と体験2	1後	2			7	4		1			
		心理学概論A	1前後	2						1			
心理学概論B		1前後	2		1								
心理統計法1		1前	2			1					5		
心理統計法2		1後	2			1					5		
心理学研究法		1前後	2			4	1						
心理学実験法		2前後	2			1					4		
心理学実験法実習		2前後	2			1					4		
心理学検査法		2前後	2								6		
心理学検査法実習		2前後	2								6		
比較心理学		1前後		2			1						
産業心理学		1前後		2			1						
児童心理学		1前後		2							1		
障害児(者)心理学		1前後		2			1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	スペイン語1A	1前		1								2
	スペイン語1B	1前		1								1
	スペイン語2A	1後		1								2
	スペイン語2B	1後		1								1
	スペイン語3A	2前		1								1
	スペイン語3B	2前		1								1
	スペイン語4A	2後		1								1
	スペイン語4B	2後		1								1
	中級スペイン語1	3前		1								1
	中級スペイン語2	3後		1								1
	上級スペイン語1	4前		1								1
	上級スペイン語2	4後		1								1
	コンピュータ基礎演習	1後		1								1
	コンピュータ応用演習	1後		1								1
	海外語学研修B	2集中		2								1
	自然哲学	1後		2								1
	地理学で知る自然と環境(未開講)	1前		2								1
	都市と建築	1後		2								4
	現代社会と平和	1前		2								4
	社会に生きる私たちの人権B	1後		2								1
	ジェンダーを考えるB	1後		2								1
	メディア論	1後		2								1
	イスラームの歴史と文化	1後		2								1
地理学で知る人間と社会(未開講)	1前		2								1	
図像学B	1後		2								1	
人類の社会と文化	2後		2								1	
現代スポーツ論	1後		2								1	
食と健康	2後		2								1	
小計(200科目)	-		6	310	0	0	1	0	0	0	96	
全学共通キャリア形成科目	自立と体験3A(社会人としての基礎をつくる)	2後			2							4
	自立と体験3B(就業力を身につける)	3前			2							4
	ボランティア実践A(未開講)	2前			1							1
	ボランティア実践B	2後			1							1
	キャリアデザインA(理論で考える自己とキャリア)	1後			2							2
キャリアデザインB(生き方と法律・労働・お金)	2後			2							2	
小計(6科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	0	7	
学科科目	心理学概論A	1前後	2						1			
	心理学概論B	1前後	2					1				
	心理学統計法1	1前	2						1			5
	心理学統計法2	1後	2						1			5
	心理学研究法	1前後	2						4			
	心理学実験	2前後	2						1	1		4
	心理学実験実習	2前後	2						1	1		4
	心理学的アセスメント	2前後	2						2	2		6
	心理学的アセスメント実習	2前後	2						2	2		6
	比較心理学	2後		2						1		
	産業・組織心理学	1前後		2						1		
児童心理学(未開講)	2前後		2								1	
障害者・障害児心理学	1前		2						1			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学 科 科 目	基礎臨床心理学	1前後		2		1							
	性格心理学	1前後		2		1							
	知覚心理学	2前後		2		1							
	学習心理学	2前後		2					1				
	神経心理学	2前後		2		1							
	社会心理学	2前後		2		1							
	青年心理学	2前後		2		1							
	生涯発達心理学	2前後		2		1							
	発達臨床心理学	2前後		2		1							
	学校臨床心理学	2前後		2			1						
	聴知覚心理学	3前		2		1						1	
	運動視知覚心理学	3後		2									1
	実験的行動分析学	3前		2					1				
	比較認知科学	3後		2			1						
	認知神経心理学	3前		2		1							
	臨床神経心理学	3後		2								1	
	社会的認知論	3前		2		1							
	社会行動論	3後		2								1	
	消費者行動論	3前		2			1						
	組織心理学	3後		2								1	
	心理学調査法	3前		2		1						3	
	人間関係発達論	3前		2								1	
	カウンセリング技法論	3前		2		1							
	カウンセリング実践論	3後		2								1	
	認知行動療法技法論	3前		2			1						
	認知行動療法実践論	3後		2								1	
	犯罪心理学	3前		2								1	
	性格心理学実践論	3前		2								1	
	心理臨床支援技法論	3前		2		1							
	こども心理療法論	3後		2								1	
	応用行動分析学	3前		2			1						
	社会環境行動論	3後		2								1	
発達障害児教育論	3後		2		1								
発達障害者自立支援論	3後		2		1						1		
心理面接実習	3前後		2								3		
臨床心理学概論	3前		2		3	2							
精神医学概論	3後		2								1		
心理臨床・実践職能論	3後		2		1	1							
心理学で拓くキャリア	3前		2		1	1							
専門演習1A	3前	1			7	4		1					
専門演習1B	3後	1			7	4		1					
専門演習2A	4前	1			7	4		1					
専門演習2B	4後	1			7	4		1					
卒業研究	4通	8			7	4		1					
小計(58科目)	-		32	86	0	7	4	0	1	0	24		
合計(245科目)	-		41	365	10	7	4	0	1	0	107		
卒業要件及び履修方法													
全学共通科目(必修科目9単位、選択必修科目8単位、選択科目15単位)から32単位、学科科目(必修科目32単位、選択必修科目20単位以上、選択科目40単位以上)から92単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学 科 科 目	健康・医療心理学	1後		2		1							
	感情・人格心理学	1後		2		1							
	知覚・認知心理学	2前後		2								1	
	学習・言語心理学	2後		2				1					
	神経・生理心理学	2前		2		1							
	社会・集団・家族心理学	2前		2		1							
	青年心理学(未開講)	2前		2		1							
	発達心理学	2後		2		1							
	発達臨床心理学	2後		2		1							
	福祉心理学(未開講)	2後		2		2							1
	教育・学校心理学	2後		2				1					
	聴知覚心理学(未開講)	3前		2		1							
	運動視知覚心理学	3後		2								1	
	実験的行動分析学	3前		2					1				
	比較認知科学	3後		2					1				
	認知神経心理学	3前		2		1							
	臨床神経心理学	3後		2								1	
	社会的認知論(未開講)	3前		2		1							
	社会行動論	3後		2						1			
	消費者行動論(未開講)	3前		2						1			
	心理学調査法	3前		2		1		1				2	
	人間関係発達論(未開講)	3前		2								1	
	カウンセリング技法論(未開講)	3前		2		1							
	カウンセリング実践論	3後		2								1	
	認知行動療法技法論	3後		2					1				
	認知行動療法実践論	3前		2								1	
	司法・犯罪心理学	3前		2								1	
	性格心理学実践論	3後		2								1	
	心理学的支援法	3前		2		1							
	こども心理療法論	3後		2								1	
	応用行動分析学(未開講)	3前		2		1							
	社会環境行動論	3後		2								1	
発達障害児教育論	3前		2		1								
発達障害者自立支援論	3後		2		1						1		
心理実習	3前		2								3		
臨床心理学概論	3前		2		4	1							
精神疾患とその治療	3後		2								1		
公認心理師の職責	3後		2		3	1							
関係行動論	3前		2								1		
人体の構造と機能及び疾病	3前後		2								1		
心理実習	3通		2		5	1					3		
心理学で拓くキャリア(未開講)	3前		2		1	1							
専門演習1A	3前	1			9	5							
専門演習1B	3後	1			9	5							
専門演習2A	4前	1			9	5							
専門演習2B	4後	1			9	5							
卒業研究	4通	8			9	5							
小計(60科目)	-		30	92	0	9	7	0	0	0	28		
合計(266科目)	-		36	402	10	9	7	0	0	0	126		
卒業要件及び履修方法													
全学共通科目(必修科目6単位、選択必修科目8単位、選択科目18単位)から32単位、学科科目(必修科目30単位、選択必修科目20単位以上、選択科目40単位以上)から92単位以上を修得し124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))													

※担当科目のない専任教員2名が存在するため、専任教員等数とは一致しない。

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	自立と体験1	1前	2			1					1
	哲学1	1前	2								1
	哲学2	1後	2								1
	倫理学1	1前	2								1
	倫理学2	1後	2								1
	論理学1	1前	2								1
	論理学2	1後	2								1
	宗教学1	1前	2								1
	宗教学2	1後	2								1
	美学1	1前	2								1
	美学2	1後	2								1
	心理学1	1前	2								1
	心理学2	1後	2								1
	教育学1	1前	2								1
	教育学2	1後	2								1
	倫理学3	2前	2								1
	倫理学4	2後	2								1
	美学3	2前	2								1
	美学4	2後	2								1
	哲学3	2前	2								1
	哲学4	2後	2								1
	思想への招待	1前	2								1
	健康・スポーツ科学論	1前後	2								3
	健康・スポーツ演習1	1前後	1								7
	健康・スポーツ演習2	2前後	1								7
	健康・スポーツ演習3	3前後	1								7
	健康・スポーツ演習4	4前後	1								7
	外国語(英語)1A	1前	1								5
	外国語(英語)1B	1前	1								5
	外国語(英語)2A	1後	1								5
	外国語(英語)2B	1後	1								5
	外国語(ドイツ語)1A	1前	1								1
	外国語(ドイツ語)1B	1前	1								1
	外国語(ドイツ語)2A	1後	1								1
	外国語(ドイツ語)2B	1後	1								1
	外国語(フランス語)1A	1前	1								1
	外国語(フランス語)1B	1前	1								1
	外国語(フランス語)2A	1後	1								1
	外国語(フランス語)2B	1後	1								1
	外国語(中国語)1A	1前	1								1
	外国語(中国語)1B	1前	1								1
	外国語(中国語)2A	1後	1								1
	外国語(中国語)2B	1後	1								1
	外国語(韓国語)1A	1前	1								1
	外国語(韓国語)1B	1前	1								1
	外国語(韓国語)2A	1後	1								1
	外国語(韓国語)2B	1後	1								1
	日本語1A	1前	1								1
	日本語1B	1前	1								1
	日本語2A	1後	1								1
	日本語2B	1後	1								1
	情報リテラシーa	1前	2								1
	情報リテラシーb	1後	2								1
	言語学1	1前	2								1
	言語学2	1後	2								1
	言葉の思想	1前	2								1
	科学コミュニケーション論	1前	2								1
	映画と音楽で学ぶ英語	1前	2								1
	異文化体験	1前	2								1
	異文化で学ぶ英語	1後	2								1
	外国語(英語)3A	2前	1								5
	外国語(英語)3B	2前	1								5
	外国語(英語)4A	2後	1								5

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	自立と体験1	1前	2			1					1
	哲学1	1前	2								1
	哲学2	1後	2								1
	倫理学1	1前	2								1
	倫理学2	1後	2								1
	論理学1	1前	2								1
	論理学2	1後	2								1
	宗教学1	1前	2								1
	宗教学2	1後	2								1
	美学1	1前	2								1
	美学2	1後	2								1
	心理学1	1前	2								1
	心理学2	1後	2								1
	教育学1	1前	2								1
	教育学2	1後	2								1
	倫理学3	2前	2								1
	倫理学4	2後	2								1
	美学3	2前	2								1
	美学4	2後	2								1
	哲学3	2前	2								1
	哲学4	2後	2								1
	思想への招待(未開講)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学論	1前後	2								3
	健康・スポーツ演習1	1前後	1								7
	健康・スポーツ演習2	2前後	1								7
	健康・スポーツ演習3	3前後	1								7
	健康・スポーツ演習4	4前後	1								7
	外国語(英語)1A	1前	1								5
	外国語(英語)1B	1前	1								5
	外国語(英語)2A	1後	1								5
	外国語(英語)2B	1後	1								5
	外国語(ドイツ語)1A	1前	1								1
	外国語(ドイツ語)1B	1前	1								1
	外国語(ドイツ語)2A	1後	1								1
	外国語(ドイツ語)2B	1後	1								1
	外国語(フランス語)1A	1前	1								1
	外国語(フランス語)1B	1前	1								1
	外国語(フランス語)2A	1後	1								1
	外国語(フランス語)2B	1後	1								1
	外国語(中国語)1A	1前	1								1
	外国語(中国語)1B	1前	1								1
	外国語(中国語)2A	1後	1								1
	外国語(中国語)2B	1後	1								1
	外国語(韓国語)1A	1前	1								1
	外国語(韓国語)1B	1前	1								1
	外国語(韓国語)2A	1後	1								1
	外国語(韓国語)2B	1後	1								1
	日本語1A	1前	1								1
	日本語1B	1前	1								1
	日本語2A	1後	1								1
	日本語2B	1後	1								1
	情報リテラシーa	1前	2								1
	情報リテラシーb	1後	2								1
	言語学1	1前	2								1
	言語学2	1後	2								1
	言葉の思想	1前	2								1
	科学コミュニケーション論	1前	2								1
	映画と音楽で学ぶ英語	1前	2								1
	異文化体験	1前	2								1
	異文化で学ぶ英語	1後	2								1
	外国語(英語)3A	2前	1								5
	外国語(英語)3B	2前	1								5
	外国語(英語)4A	2後	1								5

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	外国語(英語)4B	2後	1								5
	外国語(ドイツ語)3A	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)3B	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)4A	2後	1								1
	外国語(ドイツ語)4B	2後	1								1
	外国語(フランス語)3A	2前	1								1
	外国語(フランス語)3B	2前	1								1
	外国語(フランス語)4A	2後	1								1
	外国語(フランス語)4B	2後	1								1
	外国語(中国語)3A	2前	1								1
	外国語(中国語)3B	2前	1								1
	外国語(中国語)4A	2後	1								1
	外国語(中国語)4B	2後	1								1
	外国語(韓国語)3A	2前	1								1
	外国語(韓国語)3B	2前	1								1
	外国語(韓国語)4A	2後	1								1
	外国語(韓国語)4B	2後	1								1
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	上級英語1	3前	1								1
	上級英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	3前	1								1
	上級ドイツ語2	3後	1								1
	上級フランス語1	3前	1								1
	上級フランス語2	3後	1								1
	上級中国語1	3前	1								1
	上級中国語2	3後	1								1
	上級韓国語1	3前	1								1
	上級韓国語2	3後	1								1
	上級英語3	4前	1								1
	上級英語4	4後	1								1
	上級ドイツ語3	4前	1								1
	上級ドイツ語4	4後	1								1
	上級フランス語3	4前	1								1
	上級フランス語4	4後	1								1
	上級中国語3	4前	1								1
	上級中国語4	4後	1								1
	上級韓国語3	4前	1								1
	上級韓国語4	4後	1								1
	日本事情1	1前	2								1
	日本事情2	1後	2								1
	外国事情1	1前	2								1
	外国事情2	1後	2								1
日本の文学1	1前	2								1	
日本の文学2	1後	2								1	
外国の文学1	1前	2								1	
外国の文学2	1後	2								1	
文化人類学1	1前	2								1	
文化人類学2	1後	2								1	
人文科学論1	1前	2								1	
人文科学論2	1後	2								1	
日本史1	1前	2								1	
日本史2	1後	2								1	
西洋の歴史と文化1	1前	2								1	
西洋の歴史と文化2	1後	2								1	
中国の歴史と文化1	1前	2								1	
中国の歴史と文化2	1後	2								1	
考古学1	1前	2								1	
考古学2	1後	2								1	
日本の芸能1	1前	2								1	
日本の芸能2	1後	2								1	
日本民俗学1	1前	2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	外国語(英語)4B	2後	1								5
	外国語(ドイツ語)3A	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)3B	2前	1								1
	外国語(ドイツ語)4A	2後	1								1
	外国語(ドイツ語)4B	2後	1								1
	外国語(フランス語)3A	2前	1								1
	外国語(フランス語)3B	2前	1								1
	外国語(フランス語)4A	2後	1								1
	外国語(フランス語)4B	2後	1								1
	外国語(中国語)3A	2前	1								1
	外国語(中国語)3B	2前	1								1
	外国語(中国語)4A	2後	1								1
	外国語(中国語)4B	2後	1								1
	外国語(韓国語)3A	2前	1								1
	外国語(韓国語)3B	2前	1								1
	外国語(韓国語)4A	2後	1								1
	外国語(韓国語)4B	2後	1								1
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	上級英語1	3前	1								1
	上級英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	3前	1								1
	上級ドイツ語2	3後	1								1
	上級フランス語1	3前	1								1
	上級フランス語2	3後	1								1
	上級中国語1	3前	1								1
	上級中国語2	3後	1								1
	上級韓国語1	3前	1								1
	上級韓国語2	3後	1								1
	上級英語3	4前	1								1
	上級英語4	4後	1								1
	上級ドイツ語3	4前	1								1
	上級ドイツ語4	4後	1								1
	上級フランス語3	4前	1								1
	上級フランス語4	4後	1								1
	上級中国語3	4前	1								1
	上級中国語4	4後	1								1
	上級韓国語3	4前	1								1
	上級韓国語4	4後	1								1
	日本事情1	1前	2								1
	日本事情2	1後	2								1
	外国事情1	1前	2								1
	外国事情2	1後	2								1
日本の文学1	1前	2								1	
日本の文学2	1後	2								1	
外国の文学1	1前	2								1	
外国の文学2	1後	2								1	
文化人類学1	1前	2								1	
文化人類学2	1後	2								1	
人文科学論1	1前	2								1	
人文科学論2	1後	2								1	
日本史1	1前	2								1	
日本史2	1後	2								1	
西洋の歴史と文化1	1前	2								1	
西洋の歴史と文化2	1後	2								1	
中国の歴史と文化1	1前	2								1	
中国の歴史と文化2	1後	2								1	
考古学1	1前	2								1	
考古学2	1後	2								1	
日本の芸能1	1前	2								1	
日本の芸能2	1後	2								1	
日本民俗学1	1前	2								1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	日本民俗学2	1後		2							1
	自然科学史	1前		2							1
	図像学	1前		2							1
	人文科学論3	2前		2							1
	人文科学論4	2後		2							1
	日本史3	2前		2							1
	日本史4	2後		2							1
	社会の仕組みと人間の営み1	1前		2							1
	社会の仕組みと人間の営み2	1後		2							1
	法学1	1前		2							1
	法学2(日本国憲法)	1後		2							1
	現代政治を読み解く1	1前		2							1
	現代政治を読み解く2	1後		2							1
	社会科学論1	1前		2							1
	社会科学論2	1後		2							1
	国際関係論1	1前		2							1
	国際関係論2	1後		2							1
	21世紀経済への視点1	1前		2							1
	21世紀経済への視点2	1後		2							1
	グローバル時代の経営1	1前		2							1
	グローバル時代の経営2	1後		2							1
	情報社会文化論1	1前		2							1
	情報社会文化論2	1後		2							1
	生涯学習論1	1前		2							1
	生涯学習論2	1後		2							1
	図書館の基礎と展望	1前		2							1
	社会に生きる私たちの人権	1前		2							1
	女性の生き方	1後		2							1
	地図を読む	1前		2							1
	ボランティア論	1前後		2							1
	情報法制論	2前		2							1
	地球惑星学1	1前		2							1
	地球惑星学2	1後		2							1
	科学技術論1	1前		2							1
	科学技術論2	1後		2							1
	統計学1	1前		2							1
	統計学2	1後		2							1
	基礎数学1	1前		2							1
	基礎数学2	1後		2							1
	生物学1	1前		2							1
	生物学2	1後		2							1
	物理学1	1前		2							1
	物理学2	1後		2							1
	化学1	1前		2							1
	化学2	1後		2							1
自然科学入門1	1前		2							1	
自然科学入門2	1後		2							1	
生物学3	2前		2							1	
生物学4	2後		2							1	
人類と環境	2前		2							1	
特別講義1	1前		2							1	
特別講義2	1前		1							1	
特別講義3	1後		2							1	
特別講義4	1後		1							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	日本民俗学2	1後		2							1
	自然科学史	1前		2							1
	図像学	1前		2							1
	人文科学論3	2前		2							1
	人文科学論4	2後		2							1
	日本史3	2前		2							1
	日本史4	2後		2							1
	社会の仕組みと人間の営み1	1前		2							1
	社会の仕組みと人間の営み2	1後		2							1
	法学1	1前		2							1
	法学2(日本国憲法)	1後		2							1
	現代政治を読み解く1	1前		2							1
	現代政治を読み解く2	1後		2							1
	社会科学論1	1前		2							1
	社会科学論2	1後		2							1
	国際関係論1	1前		2							1
	国際関係論2	1後		2							1
	21世紀経済への視点1	1前		2							1
	21世紀経済への視点2	1後		2							1
	グローバル時代の経営1	1前		2							1
	グローバル時代の経営2	1後		2							1
	情報社会文化論1	1前		2							1
	情報社会文化論2	1後		2							1
	生涯学習論1	1前		2							1
	生涯学習論2	1後		2							1
	図書館の基礎と展望	1前		2							1
	社会に生きる私たちの人権	1前		2							1
	女性の生き方	1後		2							1
	地図を読む	1前		2							1
	ボランティア論	1前後		2							1
	情報法制論	2前		2							1
	地球惑星学1	1前		2							1
	地球惑星学2(未開講)	1後		2							1
	科学技術論1	1前		2							1
	科学技術論2	1後		2							1
	統計学1	1前		2							1
	統計学2	1後		2							1
	基礎数学1	1前		2							1
	基礎数学2	1後		2							1
	生物学1	1前		2							1
	生物学2	1後		2							1
	物理学1	1前		2							1
	物理学2	1後		2							1
	化学1	1前		2							1
	化学2	1後		2							1
自然科学入門1	1前		2							1	
自然科学入門2	1後		2							1	
生物学3	2前		2							1	
生物学4	2後		2							1	
人類と環境	2前		2							1	
特別講義1(未開講)	1前		2							1	
特別講義2(未開講)	1前		1							1	
特別講義3(未開講)	1後		2							1	
特別講義4(未開講)	1後		1							1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目												
	小計(181科目)	-	9	279	0	1	0	0	0	0	0	81
全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後			2							3
	自立と体験4	3前			2							3
	ボランティア実践1	2前			1							1
	ボランティア実践2	2後			1							1
	キャリアデザイン1	1後			2							2
	キャリアデザイン2	2後			2							1
小計(6科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	0	4	
学科科目	自立と体験2	1後	2			7	4		1			
	心理学概論A	1前後	2						1			
	心理学概論B	1前後	2			1						
	心理統計法1	1前	2				1					5
	心理統計法2	1後	2				1					5
	心理学研究法	1前後	2			4	1					
	心理学実験法	2前後	2			1						4
	心理学実験法実習	2前後	2			1						4
	心理学検査法	2前後	2									6
	心理学検査法実習	2前後	2									6
	比較心理学	1前後		2			1					
	産業心理学	1前後		2			1					
	児童心理学	1前後		2								1
	障害児(者)心理学	1前後		2			1					
	基礎臨床心理学	1前後		2			1					
	性格心理学	1前後		2								1
	知覚心理学	2前後		2			1					
学習心理学	2前後		2					1				
神経心理学	2前後		2			1						
社会心理学	2前後		2			1						
青年心理学	2前後		2			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目												
	小計(181科目)	-	9	279	0	1	0	0	0	0	0	82
全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後			2							3
	自立と体験4	3前			2							3
	ボランティア実践1	2前			1							1
	ボランティア実践2	2後			1							1
	キャリアデザイン1	1後			2							2
	キャリアデザイン2	2後			2							1
小計(6科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	0	4	
学科科目	自立と体験2	1後	2			8	6					
	心理学概論A	1前後	2				1					
	心理学概論B	1前後	2				1					
	心理学統計法1	1前	2					1				5
	心理学統計法2	1後	2					1				5
	心理学研究法	1前後	2				4	1				
	心理学実験法	2前後	2				1	1				4
	心理学実験法実習	2前後	2				1	1				4
	心理学検査法	2前後	2									6
	心理学検査法実習	2前後	2									6
	比較心理学	1前後		2				1				
	産業・組織心理学	1前後		2				1				
	児童心理学	1前後		2								1
	障害者・障害児心理学	1前後		2				1				
	健康・医療心理学	1前後		2				1				
	感情・人格心理学	1前後		2				1				
	知覚・認知心理学	2前後		2				1				
学習・言語心理学	2前後		2					1				
神経・生理心理学	2前後		2				1					
社会・集団・家族心理学	2前後		2				1					
青年心理学	2前後		2				1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 科 目	生涯発達心理学	2前後		2		1						
	発達臨床心理学	2前後		2		1						
	学校臨床心理学	2前後		2			1					
	聴知覚心理学	3前		2		1						
	運動視知覚心理学	3後		2							1	
	実験的行動分析学	3前		2					1			
	比較認知科学	3後		2			1					
	認知神経心理学	3前		2		1						
	臨床神経心理学	3後		2								1
	社会的認知論	3前		2		1						
	社会行動論	3後		2								1
	消費者行動論	3前		2			1					
	組織心理学	3後		2								1
	心理学調査法	3前		2		1						3
	人間関係発達論	3前		2								1
	カウンセリング技法論	3前		2		1						
	カウンセリング実践論	3後		2								1
	認知行動療法技法論	3前		2			1					
	認知行動療法実践論	3後		2								1
	犯罪心理学	3前		2								1
	性格心理学実践論	3前		2								1
	心理臨床支援技法論	3前		2		1						
	こども心理療法論	3後		2								1
	応用行動分析学	3前		2			1					
	社会環境行動論	3後		2								1
	発達障害児教育論	3後		2		1						
発達障害者自立支援論	3後		2		1							
心理面接実習	3前後		2								3	
臨床心理学概論	3前		2		3	2						
精神医学概論	3後		2								1	
心理臨床・実践職能論	3後		2		1	1						
心理学で拓くキャリア	3前		2		1	1						
専門演習1A	3前	1			7	4		1				
専門演習1B	3後	1			7	4		1				
専門演習2A	4前	1			7	4		1				
専門演習2B	4後	1			7	4		1				
卒業研究	4通	8			7	4		1				
小計(58科目)	-	32	86	0	7	4	0	1	0	0	25	
合計(245科目)	-	41	365	10	7	4	0	1	0	0	108	
卒業要件及び履修方法												
全学共通科目(必修科目9単位、選択必修科目8単位、選択科目15単位)から32単位、学科科目(必修科目32単位、選択必修科目20単位以上、選択科目40単位以上)から92単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 科 目	発達心理学	2前後		2		1						
	発達臨床心理学	2前後		2		1						
	福祉心理学	2前後		2								1
	教育・学校心理学	2前後		2				1				
	聴知覚心理学	3前		2		1						
	運動視知覚心理学	3後		2								1
	実験的行動分析学	3前		2					1			
	比較認知科学	3後		2			1					
	認知神経心理学	3前		2		1						
	臨床神経心理学	3後		2								1
	社会的認知論	3前		2		1						
	社会行動論	3後		2						1		
	消費者行動論	3前		2			1					
	心理学調査法	3前		2		1		1				2
	人間関係発達論	3前		2								1
	カウンセリング技法論	3前		2		1						
	カウンセリング実践論	3後		2								1
	認知行動療法技法論	3前		2			1					
	認知行動療法実践論	3後		2								1
	司法・犯罪心理学	3前		2								1
	性格心理学実践論	3前		2								1
	心理学的支援法	3前		2		1						
	こども心理療法論	3後		2								1
	応用行動分析学	3前		2			1					
	社会環境行動論	3後		2								1
	発達障害児教育論	3後		2		1						
発達障害者自立支援論	3後		2		1							
心理実習	3前後		2								3	
臨床心理学概論	3前		2		3	2						
精神疾患とその治療	3後		2								1	
公認心理師の職責	3後		2		1	1						
関係行政論	3前		2								1	
人体の構造と機能及び疾病	3前後		2								1	
心理実習	3通		2		4	2						
心理学で拓くキャリア	3前		2		1	1						
専門演習1A	3前	1			8	6						
専門演習1B	3後	1			8	6						
専門演習2A	4前	1			8	6						
専門演習2B	4後	1			8	6						
卒業研究	4通	8			8	6						
小計(61科目)	-	32	92	0	8	6	0	0	0	0	26	
合計(248科目)	-	41	371	10	8	6	0	0	0	0	110	
卒業要件及び履修方法												
全学共通科目(必修科目9単位、選択必修科目8単位、選択科目15単位)から32単位、学科科目(必修科目32単位、選択必修科目20単位以上、選択科目40単位以上)から92単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	自立と体験1(大学生生活の基盤をつくる)	1前	2				1					1
	哲学A	1前		2								1
	哲学B	1後		2								1
	倫理学A	1前		2								1
	倫理学B	1後		2								1
	論理学A	1前		2								1
	論理学B	1後		2								1
	宗教学A	1前		2								1
	宗教学B	1後		2								1
	美学A	1前		2								1
	美学B	1後		2								1
	心理学A	1前		2								1
	心理学B	1後		2								1
	教育学A	1前		2								1
	教育学B	1後		2								1
	生命と自然の倫理A	1前		2								1
	生命と自然の倫理B	1後		2								1
	哲学から考える世界	2後		2								1
	哲学から考える人間	2前		2								1
	21世紀の世界を考える	1前		2								3
	健康・スポーツ科学論	1前後	2									6
	健康・スポーツ実習A	1前後		1								6
	健康・スポーツ実習B	1前後		1								6
	英語1A	1前		1								5
	英語1B	1前		1								5
	英語2A	1後		1								5
	英語2B	1後		1								5
	ドイツ語1A	1前		1								2
	ドイツ語1B	1前		1								2
	ドイツ語2A	1後		1								2
	ドイツ語2B	1後		1								2
	フランス語1A	1前		1								2
	フランス語1B	1前		1								2
	フランス語2A	1後		1								2
	フランス語2B	1後		1								2
	中国語1A	1前		1								2
	中国語1B	1前		1								2
	中国語2A	1後		1								2
	中国語2B	1後		1								2
	韓国語1A	1前		1								2
	韓国語1B	1前		1								2
	韓国語2A	1後		1								2
	韓国語2B	1後		1								2
	日本語1A	1前		1								1
	日本語1B	1前		1								1
	日本語2A	1後		1								1
	日本語2B	1後		1								1
	情報の活用と倫理	1前	2									1
	言語学A	1前		2								1
	言語学B	1後		2								1
世界のことばと文化を知る	1前		2								5	
科学コミュニケーション論	2前		2								1	
海外語学研修A	1集中		2								2	
グローバル時代の英語	2後		2								1	
英語3A	2前		1								5	
英語3B	2前		1								5	
英語4A	2後		1								5	

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全 学 共 通 科 目	英語4B	2後	1								5
	ドイツ語3A	2前	1								2
	ドイツ語3B	2前	1								2
	ドイツ語4A	2後	1								2
	ドイツ語4B	2後	1								2
	フランス語3A	2前	1								2
	フランス語3B	2前	1								2
	フランス語4A	2後	1								2
	フランス語4B	2後	1								2
	中国語3A	2前	1								2
	中国語3B	2前	1								2
	中国語4A	2後	1								2
	中国語4B	2後	1								2
	韓国語3A	2前	1								2
	韓国語3B	2前	1								2
	韓国語4A	2後	1								2
	韓国語4B	2後	1								2
	日本語3A	2前	1								1
	日本語3B	2前	1								1
	日本語4A	2後	1								1
	日本語4B	2後	1								1
	実践英語会話1	3前	1								1
	実践英語会話2	3後	1								1
	中級ドイツ語1	3前	1								1
	中級ドイツ語2	3後	1								1
	中級フランス語1	3前	1								1
	中級フランス語2	3後	1								1
	中級中国語1	3前	1								1
	中級中国語2	3後	1								1
	中級韓国語1	3前	1								1
	中級韓国語2	3後	1								1
	実用資格英語1	3前	1								1
	実用資格英語2	3後	1								1
	上級ドイツ語1	4前	1								1
	上級ドイツ語2	4後	1								1
	上級フランス語1	4前	1								1
	上級フランス語2	4後	1								1
	上級中国語1	4前	1								1
	上級中国語2	4後	1								1
	上級韓国語1	4前	1								1
	上級韓国語2	4後	1								1
	日本事情A	1前	2								1
	日本事情B	1後	2								1
	外国事情A(アジア)	1前	2								1
	外国事情B(欧米)	1後	2								1
	日本の文学A	1前	2								1
	日本の文学B	1後	2								1
	外国の文学A(アジア)	1前	2								1
	外国の文学B(欧米)	1後	2								1
	文化人類学A	1前	2								1
文化人類学B	1後	2								1	
表象文化論	2前	2								1	
舞台芸術を読み解く	1後	2								1	
日本史A(前近代)	1前	2								1	
日本史B(近代)	1後	2								1	
西洋の歴史と文化A (古代・中世)	1前	2								1	
西洋の歴史と文化B (近現代)	1後	2								1	
東アジアの歴史と文化A	1前	2								1	
東アジアの歴史と文化B	1後	2								1	
考古学A	1前	2								1	
考古学B	1後	2								1	
日本の芸能A	1前	2								1	
日本の芸能B	1後	2								1	
民俗学A	1前	2								1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	民俗学B	1後		2								1
	技術・科学史	2前		2								1
	図像学A	1前		2								1
	音楽といきる(未開講)	1前		2								1
	美術を読み解く	1前		2								1
	日本の歴史と文化A	2前		2								1
	日本の歴史と文化B	2後		2								1
	現代社会の仕組みA	1前		2								1
	現代社会の仕組みB	1後		2								1
	法学A	1前		2								1
	法学B(日本国憲法)	1後		2								1
	現代政治A	1前		2								1
	現代政治B	1後		2								1
	社会科学論A	1前		2								1
	社会科学論B	1後		2								1
	国際関係論A	1前		2								1
	国際関係論B	1後		2								1
	現代経済への視点A	1前		2								1
	現代経済への視点B	1後		2								1
	グローバル時代の経営A	1前		2								1
	グローバル時代の経営B	1後		2								1
	情報社会文化論A	1前		2								1
	情報社会文化論B	1後		2								1
	生涯学習論A	1前		2								1
	生涯学習論B	1後		2								1
	図書館の基礎と展望	1前		2								1
	社会に生きる私たちの人権A	1前		2								1
	ジェンダーを考えるA	1前		2								1
	多摩を歩く	1前後		2								1
	ボランティア論	1前後		2								1
	情報法制論	2前		2								1
	地球惑星学A	1前		2								1
	地球惑星学B	1前		2								1
	科学技術論A	1前		2								1
	科学技術論B	1後		2								1
	統計学A	1前		2								1
	統計学B	1後		2								1
	数学A	1前		2								1
	数学B	1後		2								1
	生物学A	1前		2								1
	生物学B	1後		2								1
	物理学A	1前		2								1
	物理学B	1後		2								1
	化学A	1前		2								1
	化学B	1後		2								1
自然科学A	1前		2								1	
自然科学B	1後		2								1	
人類とその環境	2前		2								2	
自立と体験2(社会の課題と出会う)	1後		2								4	
多摩と生活	1後		2								1	
多摩と自然	1後		2								1	
スペイン語1A	1前		1								1	
スペイン語1B	1前		1								1	
スペイン語2A	1後		1								1	
スペイン語2B	1後		1								1	
スペイン語3A	2前		1								1	
スペイン語3B	2前		1								1	
スペイン語4A	2後		1								1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	スペイン語4B	2後		1								1
	中級スペイン語1	3前		1								1
	中級スペイン語2	3後		1								1
	上級スペイン語1	4前		1								1
	上級スペイン語2	4後		1								1
	コンピュータ基礎演習	1後		1								1
	コンピュータ応用演習	1後		1								1
	海外語学研修日	2集中		2								2
	自然哲学	1後		2								1
	地理学で知る自然と環境	1前		2								1
	都市と建築	1後		2								1
	現代社会と平和	1前		2								4
	社会に生きる私たちの人権日	1後		2								1
	ジェンダーを考える日	1後		2								1
	メディア論	1後		2								1
	イスラームの歴史と文化	1後		2								1
	地理学で知る人間と社会	1後		2								1
	図像学日	1後		2								1
	人類の社会と文化	2後		2								1
	現代スポーツ論	1後		2								1
食と健康	2後		2								1	
小計(200科目)	-	6	310	0	0	1	0	0	0	0	89	
全学共通キャリア形成科目	自立と体験3A(社会人としての基礎をつくる)	2後			2							4
	自立と体験3B(就業力を身につける)	3前			2							4
	ボランティア実践A	2前			1							1
	ボランティア実践B	2後			1							1
	キャリアデザインA(理論で考える自己とキャリア)	1後			2							2
キャリアデザインB(生き方と法律・労働・お金)	2後			2							2	
小計(6科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	0	6	
学科科目	心理学概論A	1前後	2				1					
	心理学概論B	1前後	2			1						
	心理学統計法1	1前	2				1					5
	心理学統計法2	1後	2				1					5
	心理学研究法	1前後	2			5						
	心理学実験	2前後	2			1	1					4
	心理学実験実習	2前後	2			1	1					4
	心理的アセスメント	2前後	2			1	1					6
	心理的アセスメント実習	2前後	2			1	2					6
	比較心理学	2後		2			1					
	産業・組織心理学	1前後		2			1					
	児童心理学	2前後		2								1
	障害者・障害児心理学	1前		2		1						
	健康・医療心理学	1後		2		1						
	感情・人格心理学	1後		2		1						
	知覚・認知心理学	2前後		2		1						
	学習・言語心理学	2後		2			1					
	神経・生理心理学	2前		2		1						
	社会・集団・家族心理学	2前		2		1						
	青年心理学	2前		2		1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	発達心理学	2後		2		1						
	発達臨床心理学	2後		2		1						
	福祉心理学	2後		2							1	
	教育・学校心理学	2後		2			1					
	聴覚心理学	3前		2		1						
	運動視覚心理学	3後		2								1
	実験的行動分析学	3前		2			1					
	比較認知科学	3後		2			1					
	認知神経心理学	3前		2		1						
	臨床神経心理学	3後		2								1
	社会的認知論	3前		2		1						
	社会行動論	3後		2			1					
	消費者行動論	3前		2			1					
	心理学調査法	3前		2		1	1					2
	人間関係発達論	3前		2								1
	カウンセリング技法論	3前		2		1						
	カウンセリング実践論	3後		2								1
	認知行動療法技法論	3後		2			1					
	認知行動療法実践論	3前		2								1
	司法・犯罪心理学	3前		2								1
	性格心理学実践論	3後		2								1
	心理学的支援法	3前		2		1						
	こども心理療法論	3後		2								1
	応用行動分析学	3前		2			1					
	社会環境行動論	3後		2								1
	発達障害児教育論	3前		2		1						
	発達障害者自立支援論	3後		2								1
	心理演習	3前		2								3
	臨床心理学概論	3前		2		4	1					
	精神疾患とその治療	3後		2								1
	公認心理師の職業	3後		2		1	1					
	関係行政論	3前		2								1
	人体の構造と機能及び疾病	3前		2								1
	心理実習	3通		2		5	1					
	心理学で拓くキャリア	3前		2		1	1					
	専門演習1A	3前	1			9	5					
専門演習1B	3後	1			9	5						
専門演習2A	4前	1			9	5						
専門演習2B	4後	1			9	5						
卒業研究	4通	8			9	5						
小計(60科目)	-		30	92	0	9	7	0	0	0	27	
合計(266科目)	-		36	402	10	9	7	0	0	0	117	

卒業要件及び履修方法

全学共通科目(必修科目6単位、選択必修科目8単位、選択科目18単位)から32単位、学科科目(必修科目30単位、選択必修科目20単位以上、選択科目40単位以上)から92単位以上を修得し124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:45単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教員間の負担格差解消のため、「自立と体験1」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「性格心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。

【平成30年度】

- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「自立と体験2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授6」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「心理学概論A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理統計法1」から「心理学統計法1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理統計法2」から「心理学統計法2」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学実験法」から「心理学実験」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学実験法実習」から「心理学実験実習」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学実験実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学検査法」から「心理的アセスメント」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理学検査法実習」から「心理的アセスメント実習」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「産業心理学」から「産業・組織心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「障害児(者)心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「基礎臨床心理学」から「健康・医療心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「性格心理学」から「感情・人格心理学」に変更。
- ・教育効果向上のため、「感情・人格心理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「知覚心理学」から「知覚・認知心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「学習心理学」から「学習・言語心理学」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「学習・言語心理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「神経心理学」から「神経・生理心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「社会心理学」から「社会・集団・家族心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「生涯発達心理学」から「発達心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「福祉心理学」を新設。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「学校臨床心理学」から「教育・学校心理学」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「実験的行動分析学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果向上のため、「社会行動論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学調査法」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「犯罪心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理臨床支援技法論」から「心理学的支援法」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理面接実習」から「心理演習」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「精神医学概論」から「精神疾患とその治療」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、科目名を「心理臨床・実践職能論」から「公認心理師の職責」に変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「関係行政論」を新設。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「人体の構造と機能及び疾病」を新設。
- ・公認心理師国家資格対応のため、「心理実習」を新設。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習1A」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習1B」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習2A」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「専門演習2B」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員追加および専任教員職位変更のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「准教授4」から「准教授5」に、「助教1」から「助教0」に変更。

【令和元年度】

【全学共通科目】

- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「自立と体験1」から「自立と体験1（大学生生活の基盤をつくる）」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正及び時間割の再編成による担当者変更により、「自立と体験1（大学生生活の基盤をつくる）」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担1」から「准教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「哲学1」から「哲学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「哲学2」から「哲学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「倫理学1」から「倫理学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「倫理学2」から「倫理学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「論理学1」から「論理学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「論理学2」から「論理学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「宗教学1」から「宗教学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「宗教学2」から「宗教学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「美学1」から「美学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「美学2」から「美学B」に変更。

- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「基礎数学2」から「数学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「生物学1」から「生物学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「生物学2」から「生物学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「物理学1」から「物理学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「物理学2」から「物理学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「化学1」から「化学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「化学2」から「化学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「自然科学入門1」から「自然科学A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「自然科学入門2」から「自然科学B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「人類と環境」から「人類とその環境」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正及び時間割の再編成による担当者変更により、「人類とその環境」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、学科科目「自立と体験2」に変わる科目として「自立と体験2（社会の課題と出会う）」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「多摩と生活」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「多摩と自然」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語1A」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語1B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語2A」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語2B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語3A」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語3B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語4A」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「スペイン語4B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「中級スペイン語1」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「中級スペイン語2」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「上級スペイン語1」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「上級スペイン語2」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「コンピュータ基礎演習」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「コンピュータ応用演習」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「海外語学研修B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「自然哲学」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「地理学で知る自然と環境」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「都市と建築」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「現代社会と平和」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「社会に生きる私たちの人権B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「ジェンダーを考えるB」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「メディア論」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「イスラームの歴史と文化」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「地理学で知る人間と社会」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「図像学B」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「人類の社会と文化」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「現代スポーツ論」を新規追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「食と健康」を新規追加。

【全学共通キャリア形成科目】

- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目区分を「全学共通社会的・職業的自立促進科目」から「全学共通キャリア形成科目」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「自立と体験3」から「自立と体験3A（社会人としての基礎をつくる）」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正及び時間割の再編成による担当者変更により、「自立と体験3A（社会人としての基礎をつくる）」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「自立と体験4」から「自立と体験3B（就業力を身につける）」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正及び時間割の再編成による担当者変更により、「自立と体験3B（就業力を身につける）」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「ボランティア実践1」から「ボランティア実践A」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「ボランティア実践2」から「ボランティア実践B」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「キャリアデザイン1」から「キャリアデザインA（理論で考える自己とキャリア）」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、科目名を「キャリアデザイン2」から「キャリアデザインB（生き方と法律・労働・お金）」に変更。
- ・全学的なカリキュラム改正及び時間割の再編成による担当者変更により、「キャリアデザインB（生き方と法律・労働・お金）」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。

【学科科目】

- ・専任教員職位変更のため、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授1」から、「教授5」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼担6」から「教授1」「兼任・兼担6」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント実習」の専任教員等の配置を「兼任・兼担6」から「教授1」「准教授2」「兼任・兼担6」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「比較心理学」の配当年次を「1年前後期」から「2年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「児童心理学」の配当年次を「1年前後期」から「2年前後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「障害者・障害児心理学」の配当学期を「1年前後期」から「1年前期」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から、「教授1」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「健康・医療心理学」の配当学期を「1年前後期」から「1年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「感情・人格心理学」の配当学期を「1年前後期」から「1年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「学習・言語心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年後期」に変更。

- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「神経・生理心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年前期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「社会・集団・家族心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年前期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「青年心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年前期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「発達心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「発達臨床心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「福祉心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「教育・学校心理学」の配当学期を「2年前後期」から「2年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「認知行動療法技法論」の配当学期を「3年前期」から「3年後期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「認知行動療法実践論」の配当学期を「3年後期」から「3年前期」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「性格心理学実践論」の配当学期を「3年前期」から「3年後期」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「応用行動分析学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「発達障害児教育論」の配当学期を「3年後期」から「3年前期」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「発達障害者自立支援論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「心理演習」の配当学期を「3年前後期」から「3年前期」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」から「教授4」「准教授1」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「専門演習1A」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授6」から「教授9」「准教授5」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「専門演習1B」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授6」から「教授9」「准教授5」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「専門演習2A」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授6」から「教授9」「准教授5」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「専門演習2B」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授6」から「教授9」「准教授5」に変更。
- ・専任教員職位変更のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授6」から「教授9」「准教授5」に変更。

【令和2年度】

【全学共通科目】

- ・教員間の負担格差解消のため、「21世紀の世界を考える」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「英語1B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「英語2B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「海外語学研修A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「英語3B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「英語4B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・時間割の再編成により、「外国事情A（アジア）」の配当年次を「1年前期」から「1年前後期」に変更。
- ・時間割の再編成により、「外国の文学B（欧米）」の配当年次を「1年後期」から「1年前期」に変更。
- ・教育効果向上のため、「多摩と生活」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「スペイン語1A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育効果向上のため、「スペイン語2A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「海外語学研修B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「都市と建築」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割の再編成により、「地理学で知る人間と社会」の配当年次を「1年後期」から「1年前期」に変更。

【学科科目】

- ・教員間の負担格差解消のため、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」の専任教員等の配置を「教授1、兼任・兼任6」から「教授2、兼任・兼任6」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、兼任・兼任6」から「教授2、准教授2、兼任・兼任6」に変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「知覚・認知心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「公認心理師の職責」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1」から「教授5、准教授1、兼任・兼任3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	219 科目	6 科目	245 科目	17 科目 [△3]	243 科目 [24]	6 科目 [0]	266 科目 [21]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	宗教学1 (新：宗教学A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
2	心理学1 (新：心理学A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
3	健康・スポーツ科学論	2	1前後	一般	必修	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
4	健康・スポーツ実習A	1	1前後	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
5	健康・スポーツ実習B	1	1前後	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
6	外国語(中国語)1A (新：中国語1A)	1	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
7	外国語(中国語)1B (新：中国語1B)	1	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
8	情報リテラシーa (新：情報の活用と倫理)	2	1前	一般	必修	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
9	科学コミュニケーション論	2	2前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
10	外国語(中国語)3A (新：中国語3A)	1	2前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
11	外国語(中国語)3B (新：中国語3B)	1	2前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
12	外国の文学1 (新：外国の文学A (アジア))	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
13	外国の文学2 (新：外国の文学B (欧米))	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
14	文化人類学1 (新：文化人類学A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。

15	日本民俗学1 (新:民俗学A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
16	人文科学論3 (新:音楽といきる)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
17	法学1 (新:法学A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
18	情報社会文化論1 (新:情報社会文化論A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
19	社会に生きる私たちの人権 (新:社会に生きる私たちの人権A)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
20	女性の生き方 (新:ジェンダーを考えるA)	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
21	人類と環境 (新:人類とその環境)	2	2前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
22	新:地理学で知る自然と環境	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
23	新:地理学で知る人間と社会	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
24	ボランティア実践1 (新:ボランティア実践A)	1	2前	一般	自由	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
25	児童心理学	2	2前後	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
26	青年心理学	2	2前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
27	福祉心理学	2	2後	専門	選択	退職に伴い未開講とした。代替措置は未実施、次年度までに後任者を採用し、開講予定。
28	聴覚心理学	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
29	社会的認知論	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。

30	消費者行動論	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
31	人間関係発達論	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
32	カウンセリング技法論	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
33	応用行動分析学	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。
34	心理学で拓くキャリア	2	3前	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大の防止措置による未開講。代替措置は未実施、次年度開講する。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	組織心理学	2	3後	専門	選択	平成30年度、公認心理師国家資格対応のため、「組織心理学」を廃止し、「産業・組織心理学」として、「産業心理学」と統合した。
2	美学3	2	2前	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「美学3」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。
3	美学4	2	2後	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「美学4」を廃止した。 代替措置は未実施。
4	健康・スポーツ演習3	1	3前後	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「健康・スポーツ演習3」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。
5	健康・スポーツ演習4	1	4前後	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「健康・スポーツ演習4」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。
6	情報リテラシーb	2	1後	一般	必修	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「情報リテラシーb」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。

7	映画と音楽で学ぶ英語	2	1前	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「映画と音楽で学ぶ英語」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。
8	生物学3	2	2前	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「生物学3」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。
9	生物学4	2	2後	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「生物学4」を廃止した。 平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講した。
10	特別講義1	2	1前	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「特別講義1」を廃止した。 代替措置は未実施。
11	特別講義2	1	1前	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「特別講義2」を廃止した。 代替措置は未実施。
12	特別講義3	2	1後	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「特別講義3」を廃止した。 代替措置は未実施。
13	特別講義4	1	1後	一般	選択	平成31年度に再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正を行ったため、「特別講義4」を廃止した。 代替措置は未実施。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「組織心理学」は、公認心理師国家資格対応のために、科目統合をした。学生へは新年度はじめのガイダンス資料で「産業・組織心理学」としての開講を周知している。 <p>【平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃止の12科目は、全学的なカリキュラム改正によるもので、うち7科目は平成29、30年度入学生に対しては、旧カリキュラムとして開講しているため、支障はない。科目を廃止し、旧カリキュラムとしても開講しなかった5科目は、学生に対して速やかに修学支援システム及び掲示によって周知した。 ・ 上記の廃止科目は、再課程認定に伴うカリキュラム改正によるもので、廃止の12科目は、いずれも全学共通科目である。全学共通科目（全学共通キャリア形成科目を含む）は、旧カリキュラムでも全体で187科目を開講し、充実した科目を提供していた。新カリキュラムでは、これまでの全学共通科目に不足していたテーマや分野を補うため、31科目を新設し、全体の科目数は206科目に及び、さらに科目の充実を図ったため、学生の教育に支障はない。 <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「福祉心理学」は、担当教員の退職に伴い、休講としたが次年度は開講する。学生に対しては、今年度未開講とする旨、速やかに修学支援システム及び掲示によって周知した。 ・ この他の未開講科目については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初予定の教育目標を実現することが困難となったため、学生の修業年限での卒業及び進級への影響を考慮した上で、33科目を未開講とした。学生に対しては、履修登録前に修学支援システム等を通じて事前に周知を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{47}{245} = \boxed{19.18}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	197,697㎡	0㎡	0㎡	197,697㎡	・日野校
		683,812㎡	0㎡	0㎡	683,812㎡	・青梅校
	運 動 場 用 地	74,314㎡	0㎡	0㎡	74,314㎡	・日野校
		94,320㎡	0㎡	0㎡	94,320㎡	・青梅校
	小 計	272,011㎡	0㎡	0㎡	272,011㎡	・日野校
		778,132㎡	0㎡	0㎡	778,132㎡	・青梅校
	そ の 他	17,243㎡	0㎡	0㎡	17,243㎡	・日野校
18,621㎡		0㎡	0㎡	18,621㎡	・青梅校	
合 計	1,086,007㎡	0㎡	0㎡	1,086,007㎡	大学全体	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	179,251㎡ (179,251㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	179,251㎡ (179,251㎡)	・日野校	
	32,714㎡ (32,714㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	32,714㎡ (32,714㎡)	・青梅校	
	211,965㎡ (211,965㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	211,965㎡ (211,965㎡)	大学全体	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	・日野校 施設縮小に伴う減員 (2) 教室等の用途の見直しに による減(元) 既存演習室を2分割したた め(30) 教室等の用途の見直し及 び変更による増減(29)
	92室	230室 229室 179室	244室 231室	19室 (補助職員 6人)	0室 1室 2室 (補助職員 0人) (補助職員 2人)	
	23室	8室	36室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	
	115室	238室 237室 187室	280室 267室	20室 (補助職員 6人)	0室 1室 2室 (補助職員 0人) (補助職員 2人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			教員採用のため(元) 教員採用のため(30)
	心理学部 心理学科		18 14 13 室			

(5)	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標本	図書・学術雑誌は受入数変動による変更、機械・器具は抽出分類の変更。 (2) (学術雑誌) 電子ジャーナル契約パッケージの減少。(元) 学術雑誌の見直しおよび、電子ジャーナル契約パッケージの減少。(30) (図書、学術雑誌) 図書、学術雑誌ともに重複タイトルの見直しを含めて資料を精選した結果、当初予定数値より減少。(29)		
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
		25,687 [5,378] 25,600 [5,150] (25,687 [5,378]) (25,362 [5,353]) (24,548 [5,122]) (23,870 [5,089]) (24,000 [5,100])	614 [507] 647 [545] (614 [507]) (619 [513]) (624 [518]) (623 [521]) (647 [545])	237 [237] 261 [261] (237 [237]) (243 [243]) (247 [247]) (249 [249]) (261 [261])	95 85 (95) (92) (75)	1,673 1,100 (1,673) (1,173) (1,125) (1,109) (1,100)	1 2 (1) (3) (2)			
計	25,687 [5,378] 25,600 [5,150] (25,687 [5,378]) (25,362 [5,353])	614 [507] 647 [545] (614 [507]) (619 [513])	237 [237] 261 [261] (237 [237]) (243 [243])	95 85 (95)	1,673 1,100 (1,673) (1,173)	1 2 (1) (3)	大学全体での共用分 図書：870,513冊 〔279,861冊〕 学術雑誌：11,751種 〔11,108種〕			
(6)	図書館	面積		閲覧座席数	収納可能冊数			(閲覧座席数) 閲覧座席増設による増加 (30) (収納可能冊数) 書架増設による増加 (30) (収納可能冊数) 資料図書館開館に伴う増加 (29)		
		16,865 m ²		862 席 847 席	1,563,400 冊 1,562,200 冊 1,526,000 冊					
(7)	体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				・日野校 ・青梅校 大学全体		
		8,006m ²		野球場、テニスコート						
		4,928m ²		野球場、テニスコート						
		12,934m ²								
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全体 図書購入費には電子ジャーナルデータベースの整備費(運用コスト含む)を含む 設備購入費は大学全体	
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	45,000千円	45,000千円	45,000千円		
		共同研究費等	40,000千円	40,000千円	設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円		
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、補助金収入 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	明星大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
(学部)	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
理工学部											-
総合理工学科	4	280	-	1,480	学士 (理学) 学士 (工学)	1.03	1.17	令和2	平成22	東京都日野市程久保2丁目1番地1	定員変更(△120)
化学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	昭和39	同上	平成22年学生募集停止
人文学部	4	340	-	1,360	-	1.12	1.07	-	-	-	
国際コミュニケーション学科	4	100	-	400	学士 (国際コミュニケーション学)	1.22	1.09	-	平成17	東京都日野市程久保2丁目1番地1	
人間社会学科	4	80	-	320	学士 (社会学)	1.11	1.08	-	昭和40	同上	
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成22	同上	平成29年学生募集停止
日本文化学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.07	1.04	-	平成22	同上	
福祉実践学科	4	60	-	240	学士 (社会福祉学)	1.08	1.08	-	平成22	同上	
経済学部											
経済学科	4	260	-	1,040	学士 (経済学)	1.07	1.06	-	平成13	東京都日野市程久保2丁目1番地1	
情報学部											
情報学科	4	140	-	560	学士 (情報)	1.06	1.10	-	平成17	東京都日野市程久保2丁目1番地1	
教育学部											
教育学科	4	350	-	1,400	学士 (教育学)	1.09	1.01	-	平成22	東京都日野市程久保2丁目1番地1	
経営学部											
経営学科	4	200	-	800	学士 (経営学)	1.09	1.08	-	平成24	東京都日野市程久保2丁目1番地1	
デザイン学部											
デザイン学科	4	120	-	480	学士 (デザイン学)	1.08	1.10	-	平成26	東京都日野市程久保2丁目1番地1	
心理学部											
心理学科	4	120	-	480	学士 (心理学)	1.09	1.05	-	平成29	東京都日野市程久保2丁目1番地1	

建築学部												
建築学科	4	120	-	120	学士 (建築学)	1.23	1.23	-	令和2	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
学部全体	-	1,930	-	7,720	-	-	-	-	-	-		
(通信教育部)												
教育学部												
教育学科 (通信課程)	4	2,000	-	8,000	学士 (教育学)	0.04	0.02	-	平成22	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
人文学部												
心理・教育学科 (通信課程)	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	昭和42	東京都日野市程久保2丁目1番地1	平成22年学生募集停止	
通信教育部全体	4	2,000	-	8,000	-	-	-	-	-	-		
(大学院)												
(博士前期課程・修士課程)												
理工学研究科	2	50	-	100	-	0.43	0.38	-	-	-		
物理学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	0.15	0.10	-	昭和54	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
化学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	0.70	0.40	-	昭和48	同上		
機械工学専攻	2	10	-	20	修士 (工学)	0.55	0.40	-	昭和55	同上		
電気工学専攻	2	10	-	20	修士 (工学)	0.05	0.10	-	昭和54	同上		
建築・建設工学専攻	2	5	-	10	修士 (工学)	0.70	1.00	-	平成20	同上		
環境工学専攻	2	5	-	10	修士 (工学)	0.70	0.80	-	平成20	同上		
人文学研究科	2	20	-	30	-	0.26	0.10	-	-	-		
英米文学専攻	2	-	-	-	修士 (英米文学)	-	-	令和2	昭和58	東京都日野市程久保2丁目1番地1	令和2年学生募集停止	
社会学専攻	2	10	-	20	修士 (社会学)	0.05	0.10	-	昭和46	同上		
心理学専攻	2	-	-	-	修士 (心理学)	-	-	令和2	昭和49	同上	令和2年学生募集停止	
教育学専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和47	同上	平成26年学生募集停止	
国際コミュニケーション専攻	2	10	-	10	修士 (国際コミュニケーション学)	0.10	0.10	-	令和2	同上		
経済学研究科												
応用経済学専攻	2	10	-	20	修士 (応用経済学)	0.45	0.30	-	平成18	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
情報学研究科												
情報学専攻	2	7	-	14	修士 (情報学)	0.63	0.85	-	平成10	東京都日野市程久保2丁目1番地1		

教育学研究科												
教育学専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.15	0.30	-	平成26	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
心理学研究科												
心理学専攻	2	15	-	15	修士 (心理学)	0.80	0.80	-	令和2	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
大学院博士前期課程・修士課程全体	2	112	-	199	-	-	-	-	-	-		
(博士後期課程)												
理工学研究科	3	25	-	75	-	0.02	0.04	-	-	-		
物理学専攻	3	5	-	15	博士 (理学)	0.00	0.00	-	昭和56	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
化学専攻	3	5	-	15	博士 (理学)	0.13	0.20	-	昭和51	同上		
機械工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.00	0.00	-	昭和57	同上		
電気工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.00	0.00	-	昭和56	同上		
建築・建設工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.00	0.00	-	平成20	同上		
環境工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.00	0.00	-	平成20	同上		
人文学研究科	3	6	-	12	-	0.23	0.16	-	-	-		
英米文学専攻	3	-	-	-	博士 (英米文学)	-	-	令和2	昭和63	東京都日野市程久保2丁目1番地1	令和2年学生募集停止	
社会学専攻	3	3	-	9	博士 (社会学)	0.11	0.00	-	昭和51	同上		
心理学専攻	3	-	-	-	博士 (心理学)	-	-	令和2	昭和53	同上	令和2年学生募集停止	
教育学専攻	3	-	-	-	博士 (教育学)	-	-	-	昭和49	同上	平成26年学生募集停止	
国際コミュニケーション専攻	3	3	-	3	博士 (国際コミュニケーション学)	0.33	0.33	-	令和2	同上		
情報学研究科												
情報学専攻	3	3	-	9	博士 (情報学)	0.11	0.00	-	平成12	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
教育学研究科												
教育学専攻	3	3	-	9	博士 (教育学)	0.00	0.00	-	平成26	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
心理学研究科												
心理学専攻	3	3	-	3	博士 (心理学)	1.00	1.00	-	令和2	東京都日野市程久保2丁目1番地1		
大学院博士後期課程全体	2	40	-	108	-	-	-	-	-	-		

(通信制大学院) (博士前期課程) 教育学研究科 教育学専攻 (通信課程)	2	30	-	60	修士 (教育学)	0.29	0.26	-	平成11	東京都日野市程久保2丁目1番地1
通信制大学院博士前期課程全体	2	30	-	60	-	-	-	-	-	-
(通信制大学院) (博士後期課程) 教育学研究科 教育学専攻 (通信課程)	3	3	-	9	博士 (教育学)	1.33	1.66	-	平成18	東京都日野市程久保2丁目1番地1
通信制大学院博士後期課程全体	3	3	-	9	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	福田 憲明 (57) <平成29年4月> 教育学修士※	自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	尾野 裕美 (41) <平成29年4月> 博士(カウンセリング科学)	自立と体験2 産業心理学 消費者行動論 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	竹内 康二 (39) <平成29年4月> 博士(心身障害学)	自立と体験2 心理学研究法※ 障害児(者)心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	茅野 一穂 (54) <平成29年4月> 文学修士	自立と体験2 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	福田 憲明 (57) <平成29年4月> 教育学修士※	自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	尾野 裕美 (41) <平成29年4月> 博士(カウンセリング科学)	自立と体験2 産業心理学 消費者行動論 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	竹内 康二 (39) <平成29年4月> 博士(心身障害学)	自立と体験2 心理学研究法※ 障害児(者)心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	茅野 一穂 (54) <平成29年4月> 文学修士	自立と体験2 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	福田 憲明 (58) <平成29年4月> 教育学修士※	自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	尾野 裕美 (42) <平成29年4月> 博士(カウンセリング科学)	自立と体験2 産業・組織心理学 消費者行動論 心理学調査法 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	佐藤 拓 (38) <平成30年4月> 博士(文学)	自立と体験2 心理学実験 心理学実験実習 社会行動論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	竹内 康二 (40) <平成29年4月> 博士(心身障害学)	自立と体験2 心理学研究法※ 障害者・障害児心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	茅野 一穂 (55) <平成29年4月> 文学修士	自立と体験2 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	福田 憲明 (57) <平成29年4月> 教育学修士※	心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	生野 和子 (54) <平成31年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント実習
専	准教授	井出 尚子 (49) <平成31年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント実習
専	准教授	尾野 裕美 (44) <平成29年4月> 博士(カウンセリング科学)	産業・組織心理学 消費者行動論 心理学調査法 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	小嶋 嘉子 (52) 修士(心理学)	(担当科目なし)
専	准教授	佐藤 拓 (39) <平成30年4月> 博士(文学)	心理学実験 心理学実験実習 社会行動論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	教授	竹内 康二 (41) <平成29年4月> 博士(心身障害学)	心理学研究法※ 障害者・障害児心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	茅野 一穂 (56) <平成29年4月> 文学修士	自立と体験1(大学生生活の基盤をつくる) 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	富田 悠生 (41) 修士(心理学)	(担当科目なし)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	福田 憲明 (60) <平成29年4月> 教育学修士※	心理学研究法※ 青年心理学(未開講※1) カウンセリング技法論(未開講※1) 臨床心理学概論※ 公認心理師の職業 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習 心理演習
専	准教授	生野 和子 (55) <平成31年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント実習
専	准教授	井出 尚子 (50) <平成31年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント実習
専	准教授	尾野 裕美 (44) <平成29年4月> 博士(カウンセリング科学)	産業・組織心理学 消費者行動論(未開講※1) 心理学調査法 心理学で拓くキャリア(未開講※1) 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	小嶋 嘉子 (53) 修士(心理学)	(担当科目なし)
専	准教授	佐藤 拓 (40) <平成30年4月> 博士(文学)	心理学実験 心理学実験実習 社会行動論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	教授	竹内 康二 (42) <平成29年4月> 博士(心身障害学)	心理学研究法※ 障害者・障害児心理学 応用行動分析学(未開講※1) 臨床心理学概論※ 公認心理師の職業 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専	准教授	茅野 一穂 (57) <平成29年4月> 文学修士	自立と体験1(大学生生活の基盤をつくる) 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専	准教授	富田 悠生 (42) 修士(心理学)	(担当科目なし)

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	藤井 靖 (38) <平成29年4月> 博士(人間科学)	自立と体験2 学校臨床心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専任	助教	丹野 貴行 (37) <平成29年4月> 博士(心理学)	自立と体験2 心理学概論A 学習心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
兼任	教授	今福 一寿 (58) <平成29年4月> 体育学士	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	榎本 立雄 (64) <平成29年4月> 修士(電気工学)	情報リテラシーa 情報リテラシーb
兼任	教授	片山 文保 (66) <平成29年4月> 哲学博士	哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2
兼任	教授	金子 敬二 (63) <平成29年4月> 体育学修士	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	金子 慶之 (51) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	藤井 靖 (38) <平成29年4月> 博士(人間科学)	自立と体験2 学校臨床心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
専任	助教	丹野 貴行 (37) <平成29年4月> 博士(心理学)	自立と体験2 心理学概論A 学習心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
兼任	教授	今福 一寿 (58) <平成29年4月> 体育学士	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	榎本 立雄 (64) <平成29年4月> 修士(電気工学)	情報リテラシーa 情報リテラシーb
兼任	教授	片山 文保 (66) <平成29年4月> 哲学博士	哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2
兼任	教授	金子 敬二 (63) <平成29年4月> 体育学修士	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	金子 慶之 (51) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	藤井 靖 (39) <平成29年4月> 博士(人間科学)	自立と体験2 教育・学校心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 公認心理師の職責 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専任	准教授	丹野 貴行 (38) <平成29年4月> 博士(心理学)	自立と体験2 心理学概論A 学習・言語心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
兼任	教授	今福 一寿 (59) <平成29年4月> 体育学士	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	榎本 立雄 (65) <平成29年4月> 修士(電気工学)	情報リテラシーa 情報リテラシーb
兼任	教授	片山 文保 (67) <平成29年4月> 哲学博士	哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2
兼任	教授	金子 敬二 (65) <平成29年4月> 体育学修士	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	金子 慶之 (52) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	藤井 靖 (40) <平成29年4月> 博士(人間科学)	教育・学校心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 公認心理師の職責 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専任	准教授	丹野 貴行 (39) <平成29年4月> 博士(心理学)	心理学概論A 学習・言語心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
兼任	教授	今福 一寿 (60) <平成29年4月> 体育学士	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ実習A 健康・スポーツ実習B
兼任	教授	臼井 雅子 (57) <平成31年4月> 法学修士※	法学A(日本憲法) 法学B(日本憲法)
兼任	教授	榎本 立雄 (66) <平成29年4月> 修士(電気工学)	情報の活用と倫理
兼任	教授	片山 文保 (68) <平成29年4月> 哲学博士	哲学B 哲学から考える人間
兼任	教授	加藤 めぐみ (58) <平成31年4月> Ph. D. (豪州)	現代社会と平和※
兼任	教授	金子 敬二 (66) <平成29年4月> 体育学修士	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ実習A 健康・スポーツ実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	藤井 靖 (41) <平成29年4月> 博士(人間科学)	教育・学校心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 公認心理師の職責 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究 心理実習
専任	准教授	丹野 貴行 (40) <平成29年4月> 博士(心理学)	心理学概論A 学習・言語心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究
兼任	教授	伊藤 雅春 (64) <令和2年4月> 博士(工学)	都市と建築※
兼任	教授	今福 一寿 (61) <平成29年4月> 体育学士	健康・スポーツ科学論(未開講※1) 健康・スポーツ実習A(未開講※1) 健康・スポーツ実習B(未開講※1)
兼任	教授	臼井 雅子 (58) <平成31年4月> 法学修士※	法学A(未開講※1) 法学B(日本憲法)
兼任	教授	榎本 立雄 (67) <平成29年4月> 修士(電気工学)	情報の活用と倫理(未開講※1)
兼任	教授	片山 文保 (69) <平成29年4月> 哲学博士	哲学B 哲学から考える人間 フランス語3A フランス語4A 中級フランス語1 中級フランス語2 上級フランス語1 上級フランス語2
兼任	教授	加藤 めぐみ (59) <平成31年4月> Ph. D. (豪州)	現代社会と平和※
兼任	教授	金子 敬二 (66) <平成29年4月> 体育学修士	健康・スポーツ科学論(未開講※1) 健康・スポーツ実習A(未開講※1) 健康・スポーツ実習B(未開講※1)

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	神山 敬章 (65) <平成29年4月> 文学修士	生産学習論1 生産学習論2
兼任	教授	菊地 滋夫 (51) <平成29年4月> 博士(社会人類学)	文化人類学1 文化人類学2
兼任	教授	清田 洋一 (61) <平成29年4月> 修士(学術)※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	教授	河内山 晶子 (60) <平成29年4月> 博士(学術)	映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1
兼任	教授	小林 一岳 (59) <平成29年4月> 博士(文学)	人文科学論1 日本史1
兼任	教授	篠山 浩文 (56) <平成29年4月> 農学博士	科学コミュニケーション論 生物学1 生物学4 人類と環境
兼任	教授	J. イングルスルード (63) <平成29年4月> Doctor of Education (米 国)	言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4
兼任	教授	鈴木 時男 (60) <平成29年4月> Ph. D. (豪州)	外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	神山 敬章 (65) <平成29年4月> 文学修士	生産学習論1 生産学習論2
兼任	教授	菊地 滋夫 (51) <平成29年4月> 博士(社会人類学)	文化人類学1 文化人類学2
兼任	教授	清田 洋一 (61) <平成29年4月> 修士(学術)※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	教授	河内山 晶子 (60) <平成29年4月> 博士(学術)	映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1
兼任	教授	小林 一岳 (59) <平成29年4月> 博士(文学)	人文科学論1 日本史1
兼任	教授	篠山 浩文 (56) <平成29年4月> 農学博士	科学コミュニケーション論 生物学1 生物学4 人類と環境
兼任	教授	J. イングルスルード (63) <平成29年4月> Doctor of Education (米 国)	言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4
兼任	教授	鈴木 時男 (60) <平成29年4月> Ph. D. (豪州)	外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	神山 敬章 (66) <平成29年4月> 文学修士	生産学習論1 生産学習論2
兼任	教授	清田 洋一 (62) <平成29年4月> 修士(学術)※	外国語(英語)2A 外国語(英語)4A
兼任	教授	河内山 晶子 (61) <平成29年4月> 博士(学術)	映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1
兼任	教授	小林 一岳 (60) <平成29年4月> 博士(文学)	人文科学論1 日本史1
兼任	教授	篠山 浩文 (57) <平成29年4月> 農学博士	科学コミュニケーション論 人類と環境
兼任	教授	J. イングルスルード (64) <平成29年4月> Doctor of Education (米 国)	言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4
兼任	教授	鈴木 時男 (61) <平成29年4月> Ph. D. (豪州)	外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	神山 敬章 (67) <平成29年4月> 文学修士	生産学習論A 生産学習論B
兼任	教授	清田 洋一 (63) <平成29年4月> 修士(学術)※	英語1A 英語2A 英語3A 英語4A
兼任	教授	藤本 博之 (44) <平成31年4月> 博士(文学)	現代社会と平和※
兼任	教授	河内山 晶子 (62) <平成29年4月> 博士(学術)	英語1A 英語2A 英語3A 英語4A
兼任	教授	小林 一岳 (61) <平成29年4月> 博士(文学)	日本史A(前近代)
兼任	教授	阪井 恵 (63) <平成31年4月> 博士(学術)	音楽といきる
兼任	教授	篠山 浩文 (58) <平成29年4月> 農学博士	科学コミュニケーション論 人類とその環境
兼任	教授	J. イングルスルード (65) <平成29年4月> Doctor of Education (米 国)	言語学A 言語学B
兼任	教授	鈴木 時男 (62) <平成29年4月> Ph. D. (豪州)	現代経済への視点A 現代経済への視点B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	神山 敬章 (68) <平成29年4月> 文学修士	生産学習論A 生産学習論B
兼任	教授	清田 洋一 (64) <平成29年4月> 修士(学術)※	英語1A 英語2A 英語3A 英語4A
兼任	教授	藤本 博之 (45) <平成31年4月> 博士(文学)	現代社会と平和※
兼任	教授	河内山 晶子 (63) <平成29年4月> 博士(学術)	英語1A 英語2A 英語3A 英語4A
兼任	教授	小林 一岳 (62) <平成29年4月> 博士(文学)	日本史A(前近代) 多摩と生活※
兼任	教授	阪井 恵 (64) <平成31年4月> 博士(学術)	音楽といきる(未開講※ 1)
兼任	教授	篠山 浩文 (59) <平成29年4月> 農学博士	科学コミュニケーション論 (未開講※1) 人類とその環境(未開講※ 1) 多摩と生活※
兼任	教授	清水 文直 (63) <平成30年4月> 博士(工学)	科学技術論A 科学技術論B 物理学A 物理学B 自然科学A
兼任	教授	J. イングルスルード (65) <平成29年4月> Doctor of Education (米 国)	
兼任	教授	鈴木 時男 (63) <平成29年4月> Ph. D. (豪州)	英語3A 英語4A 現代経済への視点A 現代経済への視点B

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	清宮 義博 (66) <平成29年4月> 工学博士	科学技術論1 科学技術論2
兼任	教授	塚田 真一 (47) <平成29年4月> 博士(理学)	統計学1 統計学2
兼任	教授	富樫 伸 (61) <平成29年4月> 理学博士	生物学2 生物学3
兼任	教授	西村 美香 (56) <平成29年4月> 工学修士	美学1 美学2 美学3 美学4
兼任	教授	二村 健 (63) <平成29年4月> 学術修士	情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (56) <平成29年4月> 文学修士※	宗教学1 宗教学2 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3
兼任	教授	林 雄介 (54) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	清宮 義博 (66) <平成29年4月> 工学博士	科学技術論1 科学技術論2
兼任	教授	塚田 真一 (47) <平成29年4月> 博士(理学)	統計学1 統計学2
兼任	教授	富樫 伸 (61) <平成29年4月> 理学博士	生物学2 生物学3
兼任	教授	西村 美香 (56) <平成29年4月> 工学修士	美学1 美学2 美学3 美学4
兼任	教授	二村 健 (63) <平成29年4月> 学術修士	情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (56) <平成29年4月> 文学修士※	宗教学1 宗教学2 外国語(フランス語)1A 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3
兼任	教授	林 雄介 (54) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊 小裕 (83) <平成30年4月> 文学修士※	外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2
兼任	教授	塚田 真一 (48) <平成29年4月> 博士(理学)	統計学1 統計学2
兼任	教授	富樫 伸 (62) <平成29年4月> 理学博士	生物学2
兼任	教授	西村 美香 (57) <平成29年4月> 工学修士	美学1 美学2 美学3 美学4
兼任	教授	二村 健 (64) <平成29年4月> 学術修士	情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (57) <平成29年4月> 文学修士※	宗教学1 宗教学2 外国語(フランス語)1A 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3
兼任	教授	林 雄介 (55) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊 小裕 (84) <平成30年4月> 文学修士※	中国語1A 中国語1B 中国語2A 中国語2B 中級中国語1 中級中国語2 上級中国語1 上級中国語2 外国事情A(アジア)
兼任	教授	塚田 真一 (49) <平成29年4月> 博士(理学)	統計学A 統計学B
兼任	教授	西浦 定雄 (54) <平成31年4月> 博士(工学)	都市と建築
兼任	教授	西村 美香 (58) <平成29年4月> 工学修士	美学B 表象文化論 図像学B
兼任	教授	二村 健 (65) <平成29年4月> 学術修士	情報社会文化論A 情報社会文化論B 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (58) <平成29年4月> 文学修士※	宗教学A 宗教学B 宗学から考える人間 21世紀の世界を考える※ フランス語1A フランス語2A 世界のことばと文化を知る※ 中級フランス語1 中級フランス語2 上級フランス語1 上級フランス語2
兼任	教授	林 雄介 (56) <平成29年4月> 文学修士※	韓国語1A 韓国語2A 韓国語3A 韓国語4A 韓国語1 中級韓国語2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	豊 小裕 (85) <平成30年4月> 文学修士※	中国語1A(未開講※1) 中国語1B(未開講※1) 中国語2A 中国語2B 中級中国語1 中級中国語2 上級中国語1 上級中国語2
兼任	教授	塚田 真一 (50) <平成29年4月> 博士(理学)	統計学A 統計学B
兼任	教授	菅原 良 (54) <令和2年4月> 博士(教育情報学)	自立と体験3B(就業力を身につける)
兼任	教授	武田 有左 (61) <令和2年4月> 芸術修士	都市と建築※
兼任	教授	塚田 真一 (59) <平成29年4月> 工学修士	美学B 21世紀の世界を考える※ 表象文化論 図像学B
兼任	教授	二村 健 (66) <平成29年4月> 学術修士	情報社会文化論A(未開講※1) 情報社会文化論B 図書館の基礎と展望
兼任	教授	林 伸一郎 (59) <平成29年4月> 文学修士※	宗教学A(未開講※1) 宗教学B フランス語1A フランス語2A 世界のことばと文化を知る※ 海外語学研修A
兼任	教授	林 雄介 (57) <平成29年4月> 文学修士※	韓国語1A 韓国語2A 韓国語3A 韓国語4A 韓国語1 中級韓国語2

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	原田 久志 (66) <平成29年4月> 理学博士	化学1
兼任	教授	秀村 研二 (61) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)3B 人文科学論2
兼任	教授	深澤 清 (55) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 地図を読む
兼任	教授	P. E. ロバートソン (68) <平成29年4月> B.A. in Education (ニュージーランド)	異文化体験
兼任	教授	丸山 正義 (69) <平成29年4月> 文学修士※	外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3
兼任	教授	村井 則夫 (54) <平成29年4月> 文学修士※	哲学1 哲学3 倫理学4 言葉の思想 上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 上級ドイツ語3 上級ドイツ語4
兼任	教授	村岡 慈歩 (47) <平成29年4月> 博士(学術)	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	山下 善明 (68) <平成29年4月> 哲学修士※	美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方
兼任	教授	山本 陽子 (62) <平成29年4月> 博士(文学)	図像学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	原田 久志 (61) <平成29年4月> 理学博士	化学1
兼任	教授	秀村 研二 (61) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)3B 人文科学論2
兼任	教授	深澤 清 (56) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 地図を読む
兼任	教授	P. E. ロバートソン (68) <平成29年4月> B.A. in Education (ニュージーランド)	異文化体験
兼任	教授	丸山 正義 (69) <平成29年4月> 文学修士※	外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3
兼任	教授	村岡 慈歩 (47) <平成29年4月> 博士(学術)	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	山下 善明 (68) <平成29年4月> 哲学修士※	美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方
兼任	教授	山本 陽子 (62) <平成29年4月> 博士(文学)	図像学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	原田 久志 (67) <平成29年4月> 理学博士	化学1
兼任	教授	秀村 研二 (62) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)3B 人文科学論2
兼任	教授	深澤 清 (56) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 地図を読む
兼任	教授	P. E. ロバートソン (69) <平成29年4月> B.A. in Education (ニュージーランド)	異文化体験 外国語(英語)1B 外国語(英語)2B
兼任	教授	丸山 正義 (69) <平成29年4月> 文学修士※	外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3
兼任	教授	村岡 慈歩 (48) <平成29年4月> 博士(学術)	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	教授	山下 善明 (69) <平成29年4月> 哲学修士※	美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方
兼任	教授	山本 陽子 (63) <平成29年4月> 博士(文学)	図像学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	秀村 研二 (63) <平成29年4月> 文学修士※	韓国語1B 韓国語2B 人類とその環境 多様と生活 人類の社会と文化
兼任	教授	平塚 大輔 (59) <平成31年4月> 修士(経営管理)	自立と体験2(社会の課題と出会う) 自立と体験3B(就業力を身につける) キャリアデザインB(生き方と法律・労働・お金)
兼任	教授	深澤 清 (57) <平成29年4月> 文学修士※	英語1A 英語2A 世界のことばと文化を知る ※ 英語3A 英語4A
兼任	教授	毛利 聡子 (59) <平成31年4月> 博士(学術)	現代社会と平和※
兼任	教授	山本 陽子 (64) <平成29年4月> 博士(文学)	図像学A 美術を読み解く

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	秀村 研二 (64) <平成29年4月> 文学修士※	韓国語1B 韓国語2B 人類とその環境(未開講※1) 多様と生活※ 人類の社会と文化
兼任	教授	平塚 大輔 (60) <平成31年4月> 修士(経営管理)	自立と体験2(社会の課題と出会う) 自立と体験3B(就業力を身につける) キャリアデザインB(生き方と法律・労働・お金)
兼任	教授	深澤 清 (58) <平成29年4月> 文学修士※	英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語3A 英語4A
兼任	教授	村岡 慈歩 (50) <平成29年4月> 博士(学術)	健康・スポーツ科学論(未開講※1) 健康・スポーツ実習A(未開講※1) 健康・スポーツ実習B(未開講※1)
兼任	教授	毛利 聡子 (59) <平成31年4月> 博士(学術)	現代社会と平和※
兼任	教授	山本 陽子 (65) <平成29年4月> 博士(文学)	図像学A 美術を読み解く 東アジアの歴史と文化A

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	吉川 榮一 (61) <平成30年4月> 文学修士	外国語(中国語)3B 外国語(中国語)4B 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方
兼任	准教授	浅井 正行 (49) <平成30年4月> 博士(社会福祉学)	ボランティア実践1 ボランティア実践2
兼任	准教授	上田 耕造 (38) <平成29年4月> 博士(文学)	西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2
兼任	准教授	内田 富男 (56) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語(英語)1A
兼任	准教授	榎本 達彦 (64) <平成29年4月> 人文学士	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2
兼任	准教授	金 庚芬 (46) <平成29年4月> 博士(学術)	外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	吉川 榮一 (61) <平成30年4月> 文学修士	外国語(中国語)3B 外国語(中国語)4B 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方
兼任	教授	浅井 正行 (49) <平成30年4月> 博士(社会福祉学)	ボランティア実践1 ボランティア実践2
兼任	准教授	上田 耕造 (38) <平成29年4月> 博士(文学)	西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2
兼任	准教授	内田 富男 (56) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語(英語)1A
兼任	教授	榎本 達彦 (64) <平成29年4月> 人文学士	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2
兼任	准教授	金 庚芬 (47) <平成29年4月> 博士(学術)	外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	吉川 榮一 (62) <平成30年4月> 文学修士	外国語(中国語)3B 外国語(中国語)4B 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方
兼任	教授	浅井 正行 (50) <平成30年4月> 博士(社会福祉学)	ボランティア実践1 ボランティア実践2
兼任	准教授	上田 耕造 (39) <平成29年4月> 博士(文学)	西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2
兼任	准教授	内田 富男 (57) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語(英語)1A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	教授	榎本 達彦 (65) <平成29年4月> 人文学士	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2
兼任	教授	金 庚芬 (48) <平成29年4月> 博士(学術)	外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2
兼任	准教授	佐々木秀明 (43) <平成30年4月> 博士(理学)	生物学1 生物学3 生物学4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	吉川 榮一 (63) <平成30年4月> 文学修士	世界のことばと文化を知る※ 海外語学研修A 中国語3A 中国語3B 中国語4A 中国語4B 外国の文学A(アジア) 海外語学研修B 食と健康
兼任	教授	浅井 正行 (51) <平成30年4月> 博士(社会福祉学)	ボランティア実践A ボランティア実践B
兼任	准教授	上田 耕造 (40) <平成29年4月> 博士(文学)	西洋の歴史と文化A(古代・中世) 西洋の歴史と文化B(近現代) イスラームの歴史と文化
兼任	教授	内田 富男 (58) <平成29年4月> 修士(教育学)	英語1A 英語2A 海外語学研修A 英語3A 英語4A 海外語学研修B
兼任	准教授	太田 昌宏 (51) <平成31年4月> 修士(教育学)	自立と体験2(社会の課題と出会う) 自立と体験3A(社会人としての基礎をつくる) 自立と体験3B(就業力を身につける)
兼任	教授	金 庚芬 (48) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語1B 韓国語2B 世界のことばと文化を知る※ 韓国語3B 韓国語4B 上級韓国語1 上級韓国語2
兼任	准教授	佐々木秀明 (44) <平成30年4月> 博士(理学)	生物学A 生物学B 自然科学B
兼任	准教授	島本 好平 (41) <平成31年4月> 博士(学術)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ実習A 健康・スポーツ実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	吉川 榮一 (64) <平成30年4月> 文学修士	世界のことばと文化を知る※ 海外語学研修A 中国語3A(未開講※1) 中国語3B(未開講※1) 中国語4A 中国語4B 外国の文学A(アジア) (未開講※1) 食と健康
兼任	教授	浅井 正行 (52) <平成30年4月> 博士(社会福祉学)	ボランティア実践A(未開講※1) ボランティア実践B
兼任	准教授	上田 耕造 (41) <平成29年4月> 博士(文学)	21世紀の世界を考える※ 西洋の歴史と文化A(古代・中世) 西洋の歴史と文化B(近現代) イスラームの歴史と文化
兼任	教授	内田 富男 (59) <平成29年4月> 修士(教育学)	英語1A 英語2A 英語3A 英語4A 海外語学研修B
兼任	教授	太田 昌宏 (52) <平成31年4月> 修士(教育学)	自立と体験2(社会の課題と出会う) 自立と体験3A(社会人としての基礎をつくる)
兼任	教授	金 庚芬 (49) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語1B 韓国語2B 世界のことばと文化を知る※ 海外語学研修A 韓国語3B 韓国語4B 上級韓国語1 上級韓国語2 外国事情A(アジア)
兼任	教授	佐々木秀明 (45) <平成30年4月> 博士(理学)	生物学A 生物学B 自然科学B
兼任	准教授	島本 好平 (41) <平成31年4月> 博士(学術)	健康・スポーツ科学論(未開講※1) 健康・スポーツ実習A(未開講※1) 健康・スポーツ実習B(未開講※1)

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	藤原 愛 (41) <平成29年4月> 修士(言語学)※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 異文化で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	准教授	宮村 典秀 (39) <平成29年4月> 博士(工学)	物理学1 物理学2
兼任	准教授	山崎 藍 (39) <平成29年4月> 博士(文学)	外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2
兼任	准教授	山崎 元泰 (45) <平成29年4月> Ph.D. in International Studies (英国)	現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2
兼任	講師	E. ボーバン (26) <平成29年4月> Master's degree in Specialized Translation (ベルギー)	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	浜野 晋士 (40) <平成29年4月> 博士(文学)	哲学1 哲学3
兼任	准教授	藤原 愛 (41) <平成29年4月> 修士(言語学)※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 異文化で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A
兼任	准教授	宮村 典秀 (39) <平成29年4月> 博士(工学)	物理学1 物理学2
兼任	准教授	山崎 藍 (39) <平成29年4月> 博士(文学)	外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2
兼任	教授	山崎 元泰 (45) <平成29年4月> Ph.D. in International Studies (英国)	現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2
兼任	講師	E. ボーバン (26) <平成29年4月> Master's degree in Specialized Translation (ベルギー)	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	浜野 晋士 (41) <平成29年4月> 博士(文学)	哲学1 哲学3
兼任	准教授	宮村 典秀 (40) <平成29年4月> 博士(工学)	物理学1 物理学2
兼任	講師	E. ボーバン (27) <平成29年4月> Master's degree in Specialized Translation (ベルギー)	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	O. ヴォリンツェヴァ (42) <平成30年4月> Master of Arts in Linguistics (ペラルー シ)	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B
兼任	講師	O. ガライ (26) <平成30年4月> Master of Arts (ハンガ リー)	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	南 愛 (47) <平成31年4月> 短期大学士	自立と体験3A(社会人としての基礎をつくる) 自立と体験3B(就業力を身につける) キャリアデザインB(生き方と法律・労働・お金)
兼任	准教授	浜野 晋士 (42) <平成29年4月> 博士(文学)	哲学A 美学A 哲学から考える世界 21世紀の世界を考える※
兼任	准教授	藤原 愛 (41) <平成29年4月> 修士(言語学)※	英語1A 英語2A グローバル時代の英語 英語3A 英語4A
兼任	講師	O. ヴォリンツェヴァ (43) <平成30年4月> Master of Arts in Linguistics (ペラルー シ)	英語1B 英語2B 英語3B 英語4B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	南 愛 (47) <平成31年4月> 短期大学士	自立と体験3A(社会人としての基礎をつくる) 自立と体験3B(就業力を身につける) キャリアデザインB(生き方と法律・労働・お金)
兼任	准教授	浜野 晋士 (43) <平成29年4月> 博士(文学)	哲学A 美学A 哲学から考える世界 21世紀の世界を考える※
兼任	准教授	藤原 愛 (42) <平成29年4月> 修士(言語学)※	英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 海外語学研修A グローバル時代の英語 言語学A 言語学B
兼任	講師	E. K. アング (66) <令和2年4月> Ph D (ニューージーランド)	英語1B 英語2B 英語3B 英語4B
兼任	講師	O. ヴォリンツェヴァ (44) <平成30年4月> Master of Arts in Linguistics (ペラルー シ)	英語1B 英語2B 英語3B 英語4B
兼任	講師	C. フォースマン (26) <令和2年4月> Postgraduate Diploma in Applied Linguistics (ニューージーランド)	英語3B 英語4B

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助教	坂本 拓弥 (30) <平成29年4月> 博士(教育学)	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	青木 克憲 (60) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A
兼任	講師	青柳 宏亮 (34) <平成31年4月> 修士(心理学)	こども心理療法論 心理面接実習
兼任	講師	安藤 道夫 (49) <平成29年4月> 修士(哲学)※	論理学1 論理学2
兼任	講師	飯田 茂 (58) <平成31年4月> 医学学士	精神医学概論
兼任	講師	五十嵐 正敏 (55) <平成29年4月> 博士(化学)	化学2 自然科学入門1 自然科学入門2
兼任	講師	石川 正弘 (50) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学1
兼任	講師	井出野 尚 (56) <平成31年4月> 修士(文学)※	社会行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	坂本 拓弥 (30) <平成29年4月> 博士(教育学)	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	青木 克憲 (60) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A
兼任	講師	青柳 宏亮 (34) <平成31年4月> 修士(心理学)	こども心理療法論 心理面接実習
兼任	講師	安藤 道夫 (49) <平成29年4月> 修士(哲学)※	論理学1 論理学2
兼任	講師	飯田 茂 (58) <平成31年4月> 医学学士	精神医学概論
兼任	講師	五十嵐 正敏 (55) <平成29年4月> 博士(化学)	化学2 自然科学入門1 自然科学入門2
兼任	講師	石川 正弘 (50) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学1
兼任	講師	井出野 尚 (56) <平成31年4月> 修士(文学)※	社会行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助教	佐藤 洋 (30) <平成30年4月> 博士(体育科学)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	青木 克憲 (61) <平成29年4月> 文学修士※	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A
兼任	講師	青柳 宏亮 (36) <平成31年4月> 修士(心理学)	こども心理療法論 心理演習
兼任	講師	安藤 道夫 (50) <平成29年4月> 修士(哲学)※	論理学1 論理学2
兼任	講師	飯田 茂 (59) <平成31年4月> 医学学士	精神疾患とその治療
兼任	講師	五十嵐 正敏 (56) <平成29年4月> 博士(化学)	化学2 自然科学入門1 自然科学入門2
兼任	講師	石川 正弘 (51) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	助教	佐藤 洋 (31) <平成30年4月> 博士(体育科学)	21世紀の世界を考える※ 健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ実習A 健康・スポーツ実習B 現代スポーツ論
兼任	講師	安藤 道夫 (51) <平成29年4月> 修士(哲学)※	論理学A 論理学B
兼任	講師	石川 正弘 (52) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学A 地球惑星学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中野 隆基 (31) <令和2年4月> 修士(学術)	スペイン語1A スペイン語2A スペイン語3A スペイン語3B スペイン語4A スペイン語4B 世界のことばと文化を知る※
兼任	助教	佐藤 洋 (32) <平成30年4月> 博士(体育科学)	健康・スポーツ科学論(未開講※1) 健康・スポーツ実習A(未開講※1) 健康・スポーツ実習B(未開講※1) 現代スポーツ論
兼任	助教	深井 祐輔 (36) <令和2年4月> 博士(工学)	都市と建築※
兼任	講師	天野 通大 (40) <令和2年4月> 博士(理学)	数学A 数学B
兼任	講師	安藤 道夫 (52) <平成29年4月> 修士(哲学)※	論理学A 論理学B
兼任	講師	五十嵐 正敏 (58) <平成29年4月> 博士(化学)	化学A 化学B
兼任	講師	石川 正弘 (53) <平成29年4月> 博士(理学)	地球惑星学A 地球惑星学B

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 教子 (45) <平成29年4月> 博士(人間科学)	心理学1 心理学2 心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	岩隈 道洋 (43) <平成30年4月> 修士(法学)※	情報法制論
兼任	講師	輪飼 政志 (52) <平成30年4月> 博士(史学)	日本史3 日本史4
兼任	講師	梅比良 節子 (63) <平成30年4月> 文学修士※	外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A
兼任	講師	枝見 太郎 (59) <平成29年4月> 高等学校卒	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (60) <平成29年4月> 博士(史学)	中国の歴史と文化1 中国の歴史と文化2
兼任	講師	大井 直子 (67) <平成29年4月> 博士(教育学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	大野 祐二 (54) <平成30年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)3A 外国語(韓国語)4A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 教子 (45) <平成29年4月> 博士(人間科学)	心理学1 心理学2 心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	井上 愛 (34) <平成29年4月> 修士(文学)	日本の芸能1 日本の芸能2
兼任	講師	岩隈 道洋 (43) <平成30年4月> 修士(法学)※	情報法制論
兼任	講師	輪飼 政志 (52) <平成30年4月> 博士(史学)	日本史3 日本史4
兼任	講師	梅比良 節子 (63) <平成30年4月> 文学修士※	外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A
兼任	講師	枝見 太郎 (59) <平成29年4月> 高等学校卒	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (60) <平成29年4月> 博士(史学)	中国の歴史と文化1 中国の歴史と文化2
兼任	講師	大井 直子 (67) <平成29年4月> 博士(教育学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	大野 祐二 (54) <平成30年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)3A 外国語(韓国語)4A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 教子 (46) <平成29年4月> 博士(人間科学)	心理学1 心理学2 心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	井上 愛 (35) <平成29年4月> 修士(文学)	日本の芸能1 日本の芸能2
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>	福祉心理学
兼任	講師	岩隈 道洋 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	情報法制論
兼任	講師	輪飼 政志 (53) <平成30年4月> 博士(史学)	日本史3 日本史4
兼任	講師	梅原 響 (26) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	枝見 太郎 (60) <平成29年4月> 高等学校卒	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (61) <平成29年4月> 博士(史学)	中国の歴史と文化1 中国の歴史と文化2
兼任	講師	大井 直子 (68) <平成29年4月> 博士(教育学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	大野 祐二 (55) <平成30年4月> 文学修士※	外国語(韓国語)3A 外国語(韓国語)4A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 教子 (47) <平成29年4月> 博士(人間科学)	心理学A 心理学B 心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	井上 愛 (36) <平成29年4月> 修士(文学)	日本の芸能A 日本の芸能B
兼任	講師	井上 和哉 (27) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	性格心理学実践論
兼任	講師	入江 多津子 (69) <平成31年4月> リハビリテーション修士	福祉心理学
兼任	講師	岩隈 道洋 (45) <平成30年4月> 修士(法学)※	情報法制論
兼任	講師	輪飼 政志 (54) <平成30年4月> 博士(史学)	日本史B(近代) 日本の歴史と文化A 日本の歴史と文化B
兼任	講師	梅原 響 (27) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	枝見 太郎 (61) <平成29年4月> 高等学校卒	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (62) <平成29年4月> 博士(史学)	東アジアの歴史と文化A 東アジアの歴史と文化B
兼任	講師	大井 直子 (69) <平成29年4月> 博士(教育学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	大岡 ヨト (38) <令和2年4月> 修士(教育学)※/ Department of Humanities and Social Sciences in the Professions Sociology of Education (米國)	教育学A 教育学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 教子 (48) <平成29年4月> 博士(人間科学)	心理学A(未開講※1) 心理学B 心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	井上 愛 (37) <平成29年4月> 修士(文学)	日本の芸能A 日本の芸能B
兼任	講師	井上 和哉 (28) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	性格心理学実践論
兼任	講師	岩隈 道洋 (46) <平成30年4月> 修士(法学)※	情報法制論
兼任	講師	輪飼 政志 (55) <平成30年4月> 博士(史学)	日本史B(近代) 日本の歴史と文化A 日本の歴史と文化B
兼任	講師	梅原 響 (28) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	枝見 太郎 (62) <平成29年4月> 高等学校卒	ボランティア論
兼任	講師	王 瑞来 (63) <平成29年4月> 博士(史学)	東アジアの歴史と文化B
兼任	講師	大岡 ヨト (38) <令和2年4月> 修士(教育学)※/ Department of Humanities and Social Sciences in the Professions Sociology of Education (米國)	教育学A 教育学B

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	古野 公紀 (38) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	小原 健一郎 (35) <平成29年4月> 修士(心理学)※	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (49) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習 運動視知覚心理学
兼任	講師	齋藤 和夫 (64) <平成29年4月> 法学修士※	法学1 法学2(日本国憲法)
兼任	講師	齋藤 政則 (51) <平成29年4月> 農学博士	自然科学史
兼任	講師	佐々木 昭則 (52) <平成29年4月> 文学修士	倫理学1 倫理学2 倫理学3
兼任	講師	佐藤 耕平 (41) <平成29年4月> 博士(医学)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	菅佐原 洋 (44) <平成31年4月> 博士(心理学)	社会環境行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	古野 公紀 (38) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	小原 健一郎 (35) <平成29年4月> 修士(心理学)※	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (49) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習 運動視知覚心理学
兼任	講師	齋藤 和夫 (64) <平成29年4月> 法学修士※	法学1 法学2(日本国憲法)
兼任	講師	齋藤 政則 (51) <平成29年4月> 農学博士	自然科学史
兼任	講師	佐々木 昭則 (52) <平成29年4月> 文学修士	倫理学1 倫理学2 倫理学3
兼任	講師	佐藤 耕平 (41) <平成29年4月> 博士(医学)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	菅佐原 洋 (44) <平成31年4月> 博士(心理学)	社会環境行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	古野 公紀 (39) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	小原 健一郎 (36) <平成30年4月> 修士(心理学)※	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (50) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習 運動視知覚心理学
兼任	講師	齋藤 和夫 (65) <平成29年4月> 法学修士※	法学1 法学2(日本国憲法)
兼任	講師	齋藤 政則 (52) <平成29年4月> 農学博士	自然科学史
兼任	講師	佐々木 昭則 (53) <平成29年4月> 文学修士	倫理学1 倫理学2 倫理学3
兼任	講師	佐藤 耕平 (42) <平成29年4月> 博士(医学)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	佐藤 雄哉 (27) <平成30年4月> 修士(体育科学)	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	真田 尚剛 (34) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	現代政治を讀み解く1 現代政治を讀み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2
兼任	講師	清水 由布紀 (32) <平成30年4月> 修士(文学)	異文化で学ぶ英語
兼任	講師	菅佐原 洋 (45) <平成31年4月> 博士(心理学)	社会環境行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	古野 公紀 (40) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	小原 健一郎 (37) <平成29年4月> 修士(心理学)※	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (51) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習 運動視知覚心理学
兼任	講師	近藤 健太 (28) <平成31年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	齋藤 政則 (53) <平成29年4月> 農学博士	技術・科学史
兼任	講師	齊藤 裕史 (57) <平成31年4月> 文学修士※	フランス語1B フランス語2B フランス語3A フランス語4A
兼任	講師	佐々木 昭則 (54) <平成29年4月> 文学修士	倫理学A 倫理学B 生命と自然の倫理A 生命と自然の倫理B
兼任	講師	菅佐原 洋 (46) <平成31年4月> 博士(心理学)	社会環境行動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	講師	小原 健一郎 (38) <平成29年4月> 修士(心理学)※	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法
兼任	講師	小松 英海 (52) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習 知覚・認知心理学 運動視知覚心理学
兼任	講師	近藤 健太 (29) <平成31年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	齋藤 政則 (54) <平成29年4月> 農学博士	技術・科学史
兼任	講師	齊藤 裕史 (58) <平成31年4月> 文学修士※	フランス語1B フランス語2B
兼任	講師	佐々木 昭則 (55) <平成29年4月> 文学修士	倫理学A 倫理学B 生命と自然の倫理A 生命と自然の倫理B
兼任	講師	菅佐原 洋 (47) <平成31年4月> 博士(心理学)	社会環境行動論

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 清重 (46) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	鈴木 敬生 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)※	認知行動療法実践論
兼任	講師	瀬戸山 聡子 (54) <平成31年4月> 博士(学術)	組織心理学
兼任	講師	早田 雅人 (54) <平成29年4月> 修士(ドイツ文学)※	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B
兼任	講師	高見 研一 (56) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B
兼任	講師	滝本 順子 (43) <平成29年4月> 修士(社会学)※	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 清重 (46) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	鈴木 敬生 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)※	認知行動療法実践論
兼任	講師	瀬戸山 聡子 (54) <平成31年4月> 博士(学術)	組織心理学
兼任	講師	早田 雅人 (54) <平成29年4月> 修士(ドイツ文学)※	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B
兼任	講師	高見 研一 (56) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B
兼任	講師	滝本 順子 (43) <平成29年4月> 修士(社会学)※	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 清重 (47) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	鈴木 敬生 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)※	認知行動療法実践論
兼任	講師	早田 雅人 (55) <平成29年4月> 修士(ドイツ文学)※	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B
兼任	講師	高橋 実紗子 (28) <平成30年4月> 修士(英語英文学)	外国語(英語)3A
兼任	講師	高見 研一 (57) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B
兼任	講師	滝本 順子 (44) <平成29年4月> 修士(社会学)※	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	杉本 公子 (48) <平成31年4月> 学術修士※/Master of Arts in East Asian Studies (米國)	中国語1B 中国語2B 中国語3B 中国語4B
兼任	講師	鈴木 清重 (48) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	早田 雅人 (56) <平成29年4月> 修士(ドイツ文学)※	ドイツ語1A ドイツ語1B ドイツ語2A ドイツ語2B ドイツ語3A ドイツ語3B ドイツ語4A ドイツ語4B
兼任	講師	高橋 理恵 (38) <平成31年4月> 修士(言語学)	スペイン語1A スペイン語2A スペイン語3A スペイン語4A 中級スペイン語1 中級スペイン語2 上級スペイン語1 上級スペイン語2
兼任	講師	高見 研一 (58) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B
兼任	講師	滝澤 毅矢 (31) <平成31年4月> 博士(医学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	滝本 順子 (45) <平成29年4月> 修士(社会学)※	現代社会の仕組みA 現代社会の仕組みB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	杉本 公子 (49) <平成31年4月> 学術修士※/Master of Arts in East Asian Studies (米國)	中国語1B (未開講※1) 中国語2B 中国語3B (未開講※1) 中国語4B
兼任	講師	鈴木 清重 (49) <平成30年4月> 博士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	須藤 智重紀 (54) <令和2年4月> 経済学士	コンピュータ基礎演習
兼任	講師	船橋 美佐子 (42) <平成31年4月> 修士(人間科学)	認知行動療法実践論
兼任	講師	早田 雅人 (57) <平成29年4月> 修士(ドイツ文学)※	ドイツ語1A ドイツ語1B ドイツ語2A ドイツ語2B ドイツ語3A ドイツ語3B ドイツ語4A ドイツ語4B
兼任	講師	高橋 理恵 (37) <平成31年4月> 修士(言語学)	スペイン語1A スペイン語2A 中級スペイン語1 中級スペイン語2 上級スペイン語1 上級スペイン語2
兼任	講師	高見 研一 (59) <平成29年4月> 修士(文学)	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B
兼任	講師	滝澤 毅矢 (32) <平成31年4月> 博士(医学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	滝本 順子 (46) <平成29年4月> 修士(社会学)※	現代社会の仕組みA 現代社会の仕組みB

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 雅明 (29) <平成29年4月> 修士(教育学)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	武田 里子 (60) <平成29年4月> 博士(総合社会文化) ※	社会に生きる私たちの人権
兼任	講師	立川 大雅 (30) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	田中 藤司 (50) <平成29年4月> 修士(文学) ※	日本民俗学1 日本民俗学2
兼任	講師	田淵 尚子 (36) <平成31年4月> 修士(心理学) ※	カウンセリング実践論 心理面接実習
兼任	講師	塚越 敦子 (61) <平成29年4月> 文学修士	外国語(フランス語) 1A
兼任	講師	塚本 匡 (31) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	董 丹犁 (56) <平成29年4月> 学士(中国語文学)	外国語(中国語) 1A 外国語(中国語) 2A
兼任	講師	外山 知子 (60) <平成29年4月> 文学修士 ※	外国語(ドイツ語) 1A 外国語(ドイツ語) 1B 外国語(ドイツ語) 2A 外国語(ドイツ語) 2B
兼任	講師	中島 悠介 (29) <平成30年4月> 修士(文学)	心理学検査法 心理学検査法実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 雅明 (29) <平成29年4月> 修士(教育学)	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4
兼任	講師	武田 里子 (60) <平成29年4月> 博士(総合社会文化) ※	社会に生きる私たちの人権
兼任	講師	立川 大雅 (30) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学実験法 心理学実験法実習
兼任	講師	田中 藤司 (50) <平成29年4月> 修士(文学) ※	日本民俗学1 日本民俗学2
兼任	講師	田淵 尚子 (36) <平成31年4月> 修士(心理学) ※	カウンセリング実践論 心理面接実習
兼任	講師	塚本 匡 (31) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	董 丹犁 (56) <平成29年4月> 学士(中国語文学)	外国語(中国語) 1A 外国語(中国語) 2A
兼任	講師	外山 知子 (60) <平成29年4月> 文学修士 ※	外国語(ドイツ語) 1A 外国語(ドイツ語) 1B 外国語(ドイツ語) 2A 外国語(ドイツ語) 2B
兼任	講師	中島 悠介 (29) <平成30年4月> 修士(文学)	心理学検査法 心理学検査法実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武田 里子 (61) <平成29年4月> 博士(総合社会文化) ※	社会に生きる私たちの人権
兼任	講師	立川 大雅 (31) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	田中 藤司 (51) <平成30年4月> 修士(文学) ※	文化人類学1 文化人類学2 日本民俗学1 日本民俗学2
兼任	講師	田淵 尚子 (37) <平成31年4月> 修士(心理学) ※	カウンセリング実践論 心理演習
兼任	講師	塚本 匡 (32) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	董 丹犁 (57) <平成29年4月> 学士(中国語文学)	外国語(中国語) 1A 外国語(中国語) 2A
兼任	講師	外山 知子 (61) <平成29年4月> 文学修士 ※	外国語(ドイツ語) 1A 外国語(ドイツ語) 1B 外国語(ドイツ語) 2A 外国語(ドイツ語) 2B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武田 里子 (62) <平成29年4月> 博士(総合社会文化) ※	社会に生きる私たちの人権 ジェンダーを考えるA 社会に生きる私たちの人権 ジェンダーを考えるB
兼任	講師	立川 大雅 (32) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習
兼任	講師	田中 藤司 (52) <平成30年4月> 修士(文学) ※	文化人類学A 文化人類学B 民俗学A 民俗学B
兼任	講師	田淵 尚子 (38) <平成31年4月> 修士(心理学) ※	カウンセリング実践論 心理演習
兼任	講師	趙 美恩 (32) <平成31年4月> 修士(学術)	韓国語3A 韓国語3B 韓国語4A 韓国語4B
兼任	講師	寺嶋 雅彦 (28) <平成31年4月> 修士(文学)	自然哲学
兼任	講師	董 丹犁 (58) <平成29年4月> 学士(中国語文学)	中国語1A 中国語2A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	武田 里子 (63) <平成29年4月> 博士(総合社会文化) ※	社会に生きる私たちの人権 A(未開講※1) ジェンダーを考えるA(未開講※1) 社会に生きる私たちの人権 B ジェンダーを考えるB
兼任	講師	立川 大雅 (33) <平成30年4月> 修士(心理学)	心理学実験 心理学実験実習 心理実習
兼任	講師	田中 藤司 (53) <平成29年4月> 修士(文学) ※	文化人類学A(未開講※1) 文化人類学B 民俗学A(未開講※1) 民俗学B
兼任	講師	田淵 尚子 (39) <平成31年4月> 修士(心理学) ※	カウンセリング実践論
兼任	講師	趙 美恩 (33) <平成31年4月> 修士(学術)	韓国語3A 韓国語3B 韓国語4A 韓国語4B
兼任	講師	寺嶋 雅彦 (29) <平成31年4月> 修士(文学)	自然哲学
兼任	講師	董 丹犁 (59) <平成29年4月> 学士(中国語文学)	中国語1A(未開講※1) 中国語2A
兼任	講師	富田 拓郎 (61) <令和2年4月> 博士(人間科学)	心理演習

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森岡 千枝子 (61) <平成29年4月> 修士(日本語教育学)	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情1 日本事情2
兼任	講師	矢代 佐枝子 (43) <平成29年4月> 修士(児童学)※	心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (42) <平成29年4月> 博士(理学)	基礎数学1 基礎数学2
兼任	講師	油谷 元規 (35) <平成29年4月> 博士(医学)	心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (54) <平成29年4月> 医学士	犯罪心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森岡 千枝子 (61) <平成29年4月> 修士(日本語教育学)	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情1 日本事情2
兼任	講師	矢代 佐枝子 (43) <平成29年4月> 修士(児童学)※	心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (42) <平成29年4月> 博士(理学)	基礎数学1 基礎数学2
兼任	講師	油谷 元規 (36) <平成29年4月> 博士(医学)	心理学検査法 心理学検査法実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (54) <平成29年4月> 医学士	犯罪心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	毛 丹 (56) <平成30年4月> 文学修士※ 外国語(中国語)3A 外国語(中国語)4A	
兼任	講師	森岡 千枝子 (62) <平成29年4月> 修士(日本語教育学)	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情1 日本事情2
兼任	講師	矢代 佐枝子 (44) <平成29年4月> 修士(児童学)※	心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (43) <平成29年4月> 博士(理学)	基礎数学1 基礎数学2
兼任	講師	山本 陽一 (43) <平成30年4月> 博士(生涯発達科学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	油谷 元規 (36) <平成29年4月> 博士(医学)	心理的アセスメント 心理的アセスメント実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (55) <平成29年4月> 医学士	司法・犯罪心理学
兼任	講師	未定 () <平成32年4月>	人体の構造と機能及び疾病

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森岡 千枝子 (63) <平成29年4月> 修士(日本語教育学)	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情A 日本事情B
兼任	講師	矢代 佐枝子 (45) <平成29年4月> 修士(児童学)※	心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論
兼任	講師	谷戸 光昭 (44) <平成29年4月> 博士(理学)	数学A 数学B
兼任	講師	山本 陽一 (44) <平成30年4月> 博士(生涯発達科学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	油谷 元規 (38) <平成29年4月> 博士(医学)	心理実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (56) <平成29年4月> 医学士	司法・犯罪心理学
兼任	講師	未定 () <令和2年4月>	人体の構造と機能及び疾病

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森岡 千枝子 (64) <平成29年4月> 修士(日本語教育学)	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情A 日本事情B
兼任	講師	矢代 佐枝子 (46) <平成29年4月> 修士(児童学)※	心理統計法1 心理統計法2 児童心理学(未開講※1) 人間関係発達論(未開講※1)
兼任	講師	山田 達人 (29) <令和2年4月> 修士(人間科学)	心理実習 心理実習
兼任	講師	山本 陽一 (45) <平成30年4月> 博士(生涯発達科学)	心理統計法1 心理統計法2
兼任	講師	油谷 元規 (38) <平成29年4月> 博士(医学)	心理実習
兼任	講師	吉永 千恵子 (57) <平成29年4月> 医学士	司法・犯罪心理学
兼任	講師	未定 () <令和2年4月>	福祉心理学

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・塚越兼任講師退職のため、林兼任教授に変更。
- ・浅井兼任教授、兼任教授に職位変更。
- ・榎本兼任教授、兼任教授に職位変更。
- ・鈴木兼任教授、兼任教授に職位変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「自立と体験1」担当者を、境教授から鈴木兼任教授へ変更。
- ・山崎兼任教授、兼任教授に職位変更。
- ・坂本兼任助教、兼任教授に職位変更。
- ・教員間の負担格差解消のため、「性格心理学」担当者を、石井教授から黒岩兼任教授へ変更。
- ・村井兼任教授退職のため、「哲学1」「哲学3」を浜野兼任教授に変更、「倫理学4」「言葉の思想」は現在担当している兼任教員が担当、「上級ドイツ語1」「上級ドイツ語2」「上級ドイツ語3」「上級ドイツ語4」については開講年度までに兼任教員採用予定。
- ・アデボノジョ兼任講師退職のため、シュミット兼任講師に変更、「倫理学4」、「言葉の思想」は山下教授後任を採用予定。
- ・教育効果向上のため、「外国語（フランス語）1B」「外国語（フランス語）2B」担当者を、片山兼任教授から能登兼任講師へ変更。
- ・倉持兼任講師退職のため、井上兼任講師へ変更。

【平成30年度】

- ・教員組織充実のため、平成30年4月富田教授就任。
- ・教員組織充実のため、平成30年4月佐藤准教授就任。
- ・平成30年4月丹野助教、准教授に職位変更。
- ・菊地兼任教授、学内業務負担格差解消のため、「文化人類学1」「文化人類学2」担当者を田中兼任講師へ変更。
- ・清田兼任教授、研修制度派遣のため、「外国語（英語）1A」を深澤兼任教授へ変更、「外国語（英語）3A」を高橋兼任講師へ変更。
- ・平成30年3月黒岩兼任教授、定年退職のため、「感情・人格心理学」担当者を富田教授へ変更。
- ・篠山兼任教授、負担格差解消のため、「生物学1」「生物学4」担当者を佐々木兼任教授へ変更。
- ・清宮兼任教授、負担格差解消のため、「科学技術論1」「科学技術論2」担当者を、清水兼任教授へ変更。
- ・富樫兼任教授、負担格差解消のため、「生物学3」担当者を富樫兼任教授へ変更。
- ・藤原兼任教授、休職のため、「外国語（英語）1A」「外国語（英語）2A」担当者を河内山兼任教授へ、「外国語（英語）3A」「外国語（英語）4A」担当者を内田兼任教授へ、「異文化で学ぶ英語」担当者を清水兼任講師へ変更。
- ・山崎兼任教授退職のため、「外国語（中国語）1B」「外国語（中国語）2B」「上級中国語1」「上級中国語2」担当者を兼兼任教授へ変更。
- ・山崎兼任教授退職のため、「現代政治を読み解く1」「現代政治を読み解く2」「社会科学論1」「社会科学論2」「国際関係論1」「国際関係論2」担当者を、真田兼任講師へ変更。
- ・ブライア兼任講師退職のため、「外国語（英語）1B」「外国語（英語）2B」担当者をロバートソン兼任教授へ変更、「外国語（英語）3B」「外国語（英語）4B」担当者をブレナン兼任講師へ変更。
- ・アイザックス兼任講師退職のため、「外国語（英語）3B」「外国語（英語）4B」担当者をヴォリンツェヴァ兼任講師へ変更。
- ・メネギニ兼任講師退職のため、「外国語（英語）3B」「外国語（英語）4B」担当者をガラエ兼任講師へ変更。
- ・坂本兼任教授退職のため、「健康・スポーツ演習2」「健康・スポーツ演習3」「健康・スポーツ演習4」担当者を佐藤兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「外国語（フランス語）3A」「外国語（フランス語）4A」担当者を梅比良兼任講師から原山兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ演習1」「健康・スポーツ演習2」「健康・スポーツ演習3」「健康・スポーツ演習4」担当者を竹内兼任講師から佐藤兼任助教へ変更。
- ・教育効果向上のため、「外国語（中国語）3A」「外国語（中国語）4A」担当者を郭兼任講師から毛兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学統計法1」「心理学統計法2」担当者を大橋兼任講師から山本兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理学調査法」担当者を大橋兼任講師から尾野教授へ変更。
- ・公認心理師国家資格対応のため「組織心理学」と統合したことでの科目廃止により、瀬戸山兼任講師を削除。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」「心理的アセスメント実習」担当者を中村兼任講師から大橋兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」「心理的アセスメント実習」担当者を中島兼任講師から梅原兼任講師へ変更。
- ・公認心理師国家資格対応のための新設科目「福祉心理学」「関係行政論」「人体の構造と機能及び疾病」は兼任講師採用予定。
- ・公認心理師国家資格対応のための新設科目「心理実習」は、石井教授、小貫教授、富田教授、福田教授、竹内准教授、藤井准教授に担当科目追加。

【令和元年度】

- ・教員組織充実のため、平成31年4月生野准教授就任。
- ・教員組織充実のため、平成31年4月井出准教授就任。
- ・教員組織充実のため、平成31年4月小嶋准教授就任。
- ・教員組織充実のため、平成31年4月富田准教授就任。
- ・平成31年4月竹内専任准教授、教授に職位変更。
- ・平成31年4月内田兼任教授、教授に職位変更。
- ・教育効果向上、再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正による科目区分変更のため、「自立と体験2（社会の課題と出会う）」担当者を、境教授、石井教授、岡林教授、小貫教授、柴崎教授、富田教授、林（幹）教授、福田教授、尾野教授、佐藤准教授、藤井准教授、竹内教授、茅野准教授、藤井准教授、丹野准教授から、平塚兼任教授、鈴木（浩）兼任教授、太田兼任教授、高橋（南）兼任教授へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」担当者を塚本兼任講師、油谷兼任講師から、石井教授、近藤兼任講師、滝澤兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント実習」担当者を塚本兼任講師、油谷兼任講師から、石井教授、生野准教授、井出准教授、近藤兼任講師、滝澤兼任講師へ変更。
- ・業務負担格差解消のため、「発達生涯自立支援論」担当者を小貫教授から、小笠原兼任講師へ変更。
- ・業務負担格差解消のため、「自立と体験1（大学生生活の基盤をつくる）」担当者を岡林教授から、茅野准教授へ変更。
- ・教育効果向上のため、「健康・スポーツ科学論」担当者を佐藤（耕）兼任講師、三原兼任講師から、今福兼任教授、金子（敬）兼任教授、村岡兼任教授、島本兼任教授、田中（愛）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、今福兼任教授、金子（敬）兼任教授、村岡兼任教授、佐藤（洋）兼任助教、佐藤（耕）兼任講師、三原兼任講師担当「健康・スポーツ演習3」「健康・スポーツ演習4」を削除。
- ・教育効果向上のため、「法学A」「法学B」担当者を齋藤兼任講師から、臼井兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、榎本（立）兼任教授担当「情報リテラシーb」を削除。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「哲学から考える人間」「上級フランス語1」「上級フランス語2」を片山兼任教授から、林（伸）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「21世紀の世界を考える」担当者を片山兼任教授から、林（伸）兼任教授、浜野兼任教授、佐藤兼任助教へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「フランス語3B」「フランス語4B」を片山兼任教授から、能登兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および丸山兼任教授退職のため、「外国の文学A（アジア）」を片山兼任教授、丸山兼任教授から、吉川兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および丸山兼任教授退職のため、「外国の文学B（欧米）」を片山兼任教授、丸山兼任教授から、鶴田兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のための新設科目「現代社会と平和」は、加藤兼任教授、熊本兼任教授、毛利兼任教授、竹峰兼任教授に担当科目追加。
- ・業務負担格差解消のため、「地球惑星学B」担当者を金子（慶）兼任教授から、石川兼任講師へ変更。
- ・清田兼任教授、研修制度派遣終了により、「英語1A」を青木兼任講師から、清田兼任教授に変更。
- ・清田兼任教授、研修制度派遣終了により、「英語3A」を高橋（美）兼任講師から、清田兼任教授に変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、河内山兼任教授担当「映画と音楽で学ぶ英語」「特別講義1」を削除。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「表象文化論」担当者を小林兼任教授から、西村兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および丸山兼任教授退職のため、「音楽といきる」担当者を林（伸）兼任教授、丸山兼任教授から、阪井兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「物理学A」「物理学B」担当者を宮村兼任教授から、清水（文）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正およびロバートソン兼任教授退職のため、「海外語学研修A」担当者をロバートソン兼任教授、イングルスルド兼任教授から、吉川兼任教授、内田兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「外国事情A（アジア）」担当者をイングルスルド兼任教授から、兼兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「美術を読み解く」担当者をイングルスルド兼任教授から、山本兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「英語3A」「英語4A」担当者を鈴木（時）兼任教授から、藤原（愛）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「中国語1A」「中国語2A」担当者を兼兼任教授を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「上級中国語1」「上級中国語2」担当者を吉川兼任教授から、兼兼任教授へ変更。
- ・業務負担格差解消のため、「生物学B」担当者を富樫兼任教授から、佐々木兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「都市と建築」担当者に、西浦兼任教授を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「美学A」担当者を西村兼任教授から、浜野兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、西村兼任教授担当「美学3」「美学4」を削除。

- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「フランス語 2 A」担当者に林（伸）兼任教授を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および山下兼任教授退職のため、「世界のことばと文化を知る」担当教員を、林（伸）兼任教授、深澤兼任教授、吉川教授、金（庚）兼任教授、鶴田兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「韓国語 1 B」「韓国語 2 B」担当者を林（雄）兼任教授から、秀村兼任教授、金（庚）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「日本史 B（近代）」担当者を林（雄）兼任教授から、鶴岡兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「化学 A」担当者を原田兼任教授から、五十嵐兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「韓国語 3 B」担当者を秀村兼任教授から、金（庚）兼任教授、趙兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「舞台芸術を読み解く」担当者を秀村兼任教授から、丸山兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「英語 2 A」担当者を青木兼任講師から、内田兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および榎本（達）兼任教授退職のため、「自立と体験 3 B（就業力を身につける）」担当者を榎本（達）兼任教授、高橋（南）兼任教授から、平塚兼任教授、太田兼任教授、南兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および榎本（達）兼任教授退職のため、「キャリアデザイン B（生き方と法律・労働・お金）」担当者を榎本（達）兼任教授から、平塚兼任教授、南兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「多摩を歩く」担当者を深澤兼任教授から、高橋（珠）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正およびロバートソン兼任教授退職のため、「英語 1 B」「英語 2 B」担当者をヴォリツェヴァ兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「中国語 3 A」「中国語 4 A」担当者に吉川兼任教授追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「海外語学研修 B」担当者に、吉川兼任教授、内田兼任教授を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「食と健康」担当者に、吉川兼任教授を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および榎本（達）兼任教授退職のため、「自立と体験 3 A（社会人としての基礎をつくる）」担当者を榎本（達）兼任教授、高橋（南）兼任教授から、太田兼任教授、南兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「外国事情 B（欧米）」を金（庚）兼任教授から、鶴田兼任教授へ変更。
- ・教育効果向上のため、「自然科学 B」担当者を五十嵐兼任講師から、佐々木兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、佐々木兼任教授担当「生物学 3」「生物学 4」削除。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「多摩と自然」「地理学で知る人間と社会」担当者に、高橋（珠）兼任教授を追加。
- ・教育効果向上のため、「ドイツ語 1 A」「ドイツ語 1 B」「ドイツ語 2 A」「ドイツ語 2 B」を外山兼任講師から、鶴田兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「ドイツ語 3 A」「ドイツ語 3 B」「ドイツ語 4 A」「ドイツ語 4 B」担当者に鶴田兼任教授を追加。
- ・平成 30 年度担当未定だった、「中級ドイツ語 1」「中級ドイツ語 2」「上級ドイツ語 1」「上級ドイツ語 2」の担当として、鶴田兼任教授に担当科目追加。
- ・教育効果向上のため、「現代政治 A」「現代政治 B」「社会科学論 A」「社会科学論 B」「国際関係論 A」「国際関係論 B」担当者を真田兼任講師から、土野兼任教授へ変更。
- ・教育効果向上のため、「英語 1 A」「英語 2 A」担当教員を大曲兼任講師から、藤原（愛）兼任教授へ変更。
- ・教育効果向上のため、「グローバル時代の英語」を清水（由）兼任講師から、藤原（愛）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正およびポーバン兼任講師退職のため、「英語 1 B」「英語 2 B」「英語 3 B」「英語 4 B」担当者をオウマ兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正およびガイ兼任講師退職のため、「英語 3 B」「英語 4 B」担当者をジャーメイン兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正およびローナン兼任講師退職のため、「英語 1 B」「英語 2 B」担当者をブレナン兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および青柳兼任講師退職のため、「こども心理療法論」担当者を久持兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および青柳兼任講師退職のため、「心理演習」担当者については開講年度までに兼任教員採用予定。
- ・教育効果向上のため、「精神疾患とその治療」担当教員を飯田兼任講師から、小野兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「自然科学 A」担当者を五十嵐兼任講師から、清水（文）兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および中村兼任講師退職のため、「性格心理学実践論」担当者を井上兼任講師へ変更。
- ・平成 30 年度担当未定だった、「福祉心理学」の担当として、入江兼任講師に担当科目追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「韓国語 3 A」「韓国語 4 A」担当者を大野兼任講師から、林（雄）兼任教授、趙兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「メディア論」担当者に、川崎兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および毛兼任講師退職のため、「中国語 3 A」「中国語 4 A」担当者を毛兼任講師から、許兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「コンピュータ基礎演習」「コンピュータ応用演習」担当者に、桑原兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「スペイン語 1 B」「スペイン語 2 B」「スペイン語 3 B」「スペイン語 4 B」担当者に、郷澤兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「フランス語 1 B」「フランス語 2 B」「フランス語 3 A」「フランス語 4 A」担当者に齊藤兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および山下兼任教授退職のため、「生命と自然の倫理 B」担当者を佐々木兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「健康・スポーツ演習 A」「健康・スポーツ演習 B」担当者を佐藤（耕）兼任講師、佐藤（雄）兼任講師、三原兼任講師から、島本兼任教授、田中兼任教授へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「中国語 1 B」「中国語 2 B」「中国語 3 B」「中国語 4 B」担当者に杉本兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および鈴木兼任講師退職のため、「認知行動療法実践論」担当者を船場兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「ドイツ語 1 A」「ドイツ語 1 B」「ドイツ語 2 A」「ドイツ語 2 B」担当者を外山兼任講師から、鶴田兼任教授、早田兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のための新設科目「スペイン語 1 A」「スペイン語 2 A」「スペイン語 3 A」「スペイン語 4 A」「中級スペイン語 1」「中級スペイン語 2」「上級スペイン語 1」「上級スペイン語 2」は、高島兼任講師に担当科目追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正および山下兼任教授退職のため、「ジェンダーを考える A」担当者を山下兼任教授、吉川兼任教授から、武田兼任講師へ変更。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「社会に生きる私たちの人権 B」「ジェンダーを考える B」担当者に、武田兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「韓国語 4 B」担当者に趙兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、新設科目「自然哲学」担当者に、寺嶋兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「フランス語 3 B」「フランス語 4 B」担当者に中山兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「韓国語 1 A」「韓国語 2 A」担当者に丹羽兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「フランス語 1 A」担当者に能登兼任講師を追加。
- ・再課程認定に伴う全学的なカリキュラム改正のため、「舞台芸術を読み解く」担当者を秀村兼任教授から、丸山兼任講師へ変更。

【令和 2 年度】

- ・令和 2 年 4 月境教専任教授、副学長に就任。
- ・令和 2 年 4 月石井雄吉専任教授、学部長に就任。
- ・令和 2 年 4 月太田兼任教授、教授に職位変更。
- ・令和 2 年 4 月佐々木兼任教授、教授に職位変更。
- ・令和 2 年 4 月竹峰兼任教授、教授に職位変更。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、境教授担当「聴覚心理学」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、岡林教授担当「心理学で拓くキャリア」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、林教授担当「社会的認知論」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、福田教授担当「青年心理学」「カウンセリング技法論」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、尾野准教授担当「消費者行動論」「心理学で拓くキャリア」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、竹内教授担当「応用行動分析学」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、今福兼任教授担当「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ実習 A」「健康・スポーツ実習 B」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、臼井兼任教授担当「法学 A」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、榎本兼任教授担当「情報の活用と倫理」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、金子兼任教授担当「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ実習 A」「健康・スポーツ実習 B」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、阪井兼任教授担当「音楽といきる」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、篠山兼任教授担当「科学コミュニケーション論」「人類とその環境」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、薮兼任教授担当「中国語 1 A」「中国語 1 B」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、二村兼任教授担当「情報社会文化論 A」を未開講。
- ・※ 1 新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、林兼任教授担当「宗教学 A」を未開講。

- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、秀村兼任教授担当「人類とその環境」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、村岡兼任教授担当「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ実習A」「健康・スポーツ実習B」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、吉川兼任教授担当「中国語3A」「中国語3B」「外国の文学A(アジア)」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、浅井兼任教授担当「ボランティア実践A」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、島本兼任教授担当「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ実習A」「健康・スポーツ実習B」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、高橋兼任教授担当「地理学で知る自然と環境」「地理学で知る人間と社会」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、田中兼任教授担当「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ実習A」「健康・スポーツ実習B」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、鶴田兼任教授担当「外国の文学B(欧米)」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、佐藤兼任教授担当「健康・スポーツ科学論」「健康・スポーツ実習A」「健康・スポーツ実習B」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、伊藤兼任講師担当「心理学A」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、許兼任講師担当「中国語3A」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、杉本兼任講師担当「中国語1B」「中国語3B」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、武田兼任講師担当「社会に生きる私たちの人権A」「ジェンダーを考えるA」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、田中兼任講師担当「文化人類学A」「民俗学A」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、董兼任講師担当「中国語1A」を未開講。
- ※1新型コロナウイルス感染拡大の防止措置により、矢代兼任講師担当「児童心理学」「人間関係発達論」を未開講。

- ・教員間の業務負担格差解消のため、「知覚・認知心理学」担当者を境専任教授から、小松兼任講師へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「心理学研究法」担当者の石井専任教授を削除。
- ・教育効果向上のため、「心理的アセスメント」「心理的アセスメント実習」担当者に富田専任教授を追加。
- ・教育効果向上のため、「公認心理師の職責」担当者に竹内専任教授、福田専任教授を追加。
- ・教育効果向上のため、「都市と建築」担当者に伊藤兼任教授、武田兼任教授、深井兼任助教を追加。
- ・教育効果向上のため、「多摩の生活」担当者に小林兼任教授、篠山兼任教授、高橋兼任教授を追加。
- ・J. イングルスロッド兼任教授退職のため、「言語学A」「言語学B」担当者を、藤原兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「外国事情A(アジア)」担当者を藤原兼任教授から、金兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「哲学から考える人間」担当者を林兼任教授から、片山兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「中級フランス語1」「中級フランス語2」担当者を林兼任教授から、片山兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「上級フランス語1」「上級フランス語2」担当者を林兼任教授から、片山兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「世界のことばと文化を知る」担当者を深澤兼任教授から、中野兼任講師へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「21世紀の世界を考える」担当者を林兼任教授、上田兼任教授、土野兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、吉川兼任教授担当「海外語学研修B」を削除。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「海外語学研修A」担当者を内田兼任教授から、林兼任教授、金兼任教授、鶴田兼任教授、藤原兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「自立と体験3B(就業力を身につける)」担当者を太田兼任教授から、菅原兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「英語3A」「英語4A」担当者を藤原兼任教授から、鈴木兼任教授へ変更。
- ・D. シュミット兼任講師退職および教員間の負担格差解消のため、「英語1B」「英語2B」担当者を、B. ジャーメイン兼任講師、D. キョウ兼任講師、E. K. アング兼任講師、S. アーダームク兼任講師、深澤兼任教授、藤原兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「英語3B」「英語4B」担当者をB. ジャーメイン兼任講師から、C. フォースマン兼任講師、E. K. アング兼任講師、S. アーダームク兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「スペイン語1A」「スペイン語2A」担当者に中野兼任講師を追加。
- ・入江兼任講師退職のため、「福祉心理学」については未開講とし、次年度開講までに兼任教員採用予定。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「東アジアの歴史と文化A」担当者を王兼任講師から、山本兼任教授へ変更。
- ・大井兼任講師退職のため、「心理学統計法1」「心理学統計法2」担当者を、折原兼任講師へ変更。
- ・大橋兼任講師退職のため、「心理的アセスメント」「心理的アセスメント実習」担当者を、宮田兼任講師へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「心理演習」担当者を、岡田兼任講師、田淵兼任講師から、福田専任教授、富田兼任講師、山田兼任講師へ変更。
- ・令和元年度担当未定だった「人体の構造と機能及び疾病」の担当者として、小野兼任講師に担当科目追加。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「コンピュータ基礎演習」担当者を桑原兼任講師から、須藤兼任講師へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「スペイン語3B」「スペイン語4B」担当者を郷澤兼任講師から、中野兼任講師へ変更。
- ・古野兼任講師退職のため、「心理学実験」「心理学実験実習」担当者を、折原兼任講師へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「フランス語3A」「フランス語4A」担当者を齊藤兼任講師から、片山兼任教授へ変更。
- ・教員間の業務負担格差解消のため、「スペイン語3A」「スペイン語4A」担当者を高島兼任講師から、中野兼任講師へ変更。
- ・教育効果向上のため、「心理実習」担当者に立川兼任講師、油谷兼任講師、山田兼任講師を追加。
- ・林兼任講師退職のため、「教育学A」「教育学B」担当者を、大岡兼任講師へ変更。
- ・令和元年度担当未定だった、「関係行政論」の担当者として、布川兼任講師に担当科目追加。
- ・谷戸兼任講師退職のため、「数学A」「数学B」担当者を、天野兼任講師へ変更。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	4	0	1	12	0	9	9	0	0	18	0
(7)	(4)	(0)	(1)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	9	0	0	18	0	9	9	0	0	18	0
[2]	[5]	[0]	[Δ 1]	[6]	[0]	[2]	[5]	[0]	[Δ 1]	[6]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65又は70 （着任時期により 異なる） 歳	0	0

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{12} = \boxed{150} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし										
合計			後任補充状況の集計									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成28年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制		
a 委員会の設置状況		
<p>平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」（別紙1）を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。</p> <p>SDについては個別委員会を設置していないものの、本学を含む明星学苑全体として「新能力開発体系」を定め、研修等を通じて職員の能力開発に取り組んでいる。</p>		
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）		
平成26年度の開催状況		
・第1回全学FD委員会	平成26年 5月14日(水)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成26年 6月 5日(木)	教員参加人数11名
・第3回全学FD委員会	平成26年 7月 3日(木)	教員参加人数11名
・第4回全学FD委員会	平成26年 9月 4日(木)	教員参加人数10名
・第5回全学FD委員会	平成26年10月 2日(木)	教員参加人数10名
・第6回全学FD委員会	平成26年11月 6日(木)	教員参加人数10名
・第7回全学FD委員会	平成26年12月 4日(木)	教員参加人数 9名
・第8回全学FD委員会	平成27年 1月 8日(木)	教員参加人数11名
・第9回全学FD委員会	平成27年 2月12日(木)	教員参加人数11名
・第10回全学FD委員会	平成27年 3月19日(木)	教員参加人数 9名
平成27年度の開催状況		
・第1回全学FD委員会	平成27年 5月13日(水)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成27年 6月 3日(水)	教員参加人数10名
・第3回全学FD委員会	平成27年 7月 1日(水)	教員参加人数10名
・第4回全学FD委員会	平成27年 9月 2日(水)	教員参加人数10名
・第5回全学FD委員会	平成27年10月 7日(水)	教員参加人数10名
・第6回全学FD委員会	平成27年11月11日(水)	教員参加人数10名
・第7回全学FD委員会	平成27年12月 2日(水)	教員参加人数10名
・第8回全学FD委員会	平成28年 1月13日(水)	教員参加人数11名
・第9回全学FD委員会	平成28年 2月 3日(水)	教員参加人数11名
・第10回全学FD委員会	平成28年 3月 2日(水)	教員参加人数11名
平成28年度の開催状況		
・第1回全学FD委員会	平成28年 5月19日(木)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成28年 6月 8日(水)	教員参加人数10名
・第3回全学FD委員会	平成28年 7月 6日(水)	教員参加人数 8名
・第4回全学FD委員会	平成28年 9月14日(水)	教員参加人数10名
・第5回全学FD委員会	平成28年10月 5日(水)	教員参加人数10名
・第6回全学FD委員会	平成28年11月 8日(水)	教員参加人数11名
・第7回全学FD委員会	平成28年12月 6日(水)	教員参加人数10名
・第8回全学FD委員会	平成29年 1月11日(水)	教員参加人数 9名
・第9回全学FD委員会	平成29年 2月 1日(水)	教員参加人数10名
・第10回全学FD委員会	平成29年 3月 1日(水)	教員参加人数10名

平成29年度の開催状況

・第1回全学FD委員会	平成29年 5月17日(水)	教員参加人数10名
・第2回全学FD委員会	平成29年 6月 7日(水)	教員参加人数10名
・第3回全学FD委員会	平成29年 7月 5日(水)	教員参加人数11名
・第4回全学FD委員会	平成29年 9月13日(水)	教員参加人数11名
・第5回全学FD委員会	平成29年10月 4日(水)	教員参加人数11名
・第6回全学FD委員会	平成29年11月 9日(水)	教員参加人数10名
・第7回全学FD委員会	平成29年12月 6日(水)	教員参加人数10名
・第9回全学FD委員会	平成30年 2月 7日(水)	教員参加人数11名
・第10回全学FD委員会	平成30年 3月 7日(水)	教員参加人数11名

平成30年度の開催状況

・第1回全学FD委員会	平成30年 5月22日(火)	教員参加人数11名
・第2回全学FD委員会	平成30年 6月 6日(水)	教員参加人数11名
・第3回全学FD委員会	平成30年 7月 4日(水)	教員参加人数11名
・第4回全学FD委員会	平成30年 9月12日(水)	教員参加人数11名
・第5回全学FD委員会	平成30年11月 7日(水)	教員参加人数11名
・第6回全学FD委員会	平成30年12月 5日(水)	教員参加人数11名
・第7回全学FD委員会	平成31年 3月 6日(水)	教員参加人数10名

令和元年度の開催状況

・第1回全学FD委員会	令和元年 6月 4日(火)	教員参加人数11名
・第2回全学FD委員会	令和元年 7月 2日(火)	教員参加人数11名
・第3回全学FD委員会	令和元年 9月10日(火)	教員参加人数 9名
・第4回全学FD委員会	令和元年10月 1日(火)	教員参加人数10名
・第5回全学FD委員会	令和元年11月12日(火)	教員参加人数10名
・第6回全学FD委員会	令和元年12月 3日(火)	教員参加人数10名
・第7回全学FD委員会	令和 2年 1月 7日(火)	教員参加人数10名
・第8回全学FD委員会	令和 2年 2月 4日(火)	教員参加人数10名
・第9回全学FD委員会	令和 2年 3月 3日(火)	教員参加人数10名

c 委員会の審議事項等

全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムでの活動について

部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学的FDの取り組み

- 1) 新任教員のための研修会
- 2) 主体的な学びについて
- 3) 他大学とのFD情報の共有
- 4) 授業アンケートの見直し
- 5) 教員相互の授業参観における授業公開

令和元年度 全学FD研修会の実施状況

- 1) 7月29日(月)「新たな明星大学教育を構想する—変化する日本の将来と明星教育のあるべき姿—」
- 2) 12月16日(月)「アセスメントテストの結果活用について」

部局別FDの取り組み

- 1) 心理学部 2019 年度入試の総括と次年度対策のための意見交換会
- 2) 2019 年度の1・3 年生に対するアセスメントテスト (PROG) の分析結果報告会
- 3) 入試区分別成績データに関する分析結果の報告と意見交換会

b 実施方法

全学的FDの取り組み

1) 新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、公益財団法人八王子セミナーハウス主催の新任教員研修に参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

2) 主体的な学びについて

学生が主体的な学びをする為に、学内の事例を共有し、且つ一般的にはどのように考えられているかについて、平成26年度は他大学の講師を招聘し、成績評価の厳格化から授業手法等多岐に渡る内容を共有した。以降、部局別FD等を通じてそれぞれの教員が実践に向けて取り組みを進めており、平成29年度は学生の主体的な学びを促進するためのツールとしてLMSの活用方法等についても研修を行った。また、1・3年次に実施するアセスメントテストの結果をもとに、本学学生の全体的な特性を理解するとともに、障がいを持つ学生への支援を含め、多様な学生に対応することを念頭に置いた研修会を実施している。令和元年度においては、更にアセスメントテストに関する全学的な知識の共有と組織的な活用を図るため、外部講師を招聘し、他大学の活用事例等の実情を共有した。また、今年でアセスメントテストを導入し3年目となるため、その結果を踏まえて更なる活用を検討している。

3) 他大学とのFD情報の共有

他大学のFDの取り組み、実践方法等についてスムーズな情報共有ができるよう私立大学FD連携フォーラムに加盟しており、加盟校間の情報交換を通じて得られた情報は、全学FD委員会で適宜報告し、全学に展開している。

4) 授業アンケートの見直し

平成29年度中に授業アンケートの見直しを行い、平成30年度以降はより積極的な活用ができるように全学的な質問項目を整理し、併せて学科独自の質問項目を新設した。これにより、授業改善のみならず、カリキュラムの検証等にもつなげられ、組織的な取り組みを行った。

5) 教員相互の授業参観における授業公開

部局別に公募制を採り、教員相互に授業参観ができる仕組みを設けている。部局によっては全教員が全担当科目を公開する場合もあるが、積極的に取り組んでいるのは、特定の部局や教員に偏っている状況も報告されているため、授業改善につながる取組みとして全学的に浸透するよう、今後も継続して実施していく。

部局別FDの取り組み

1) 心理学部 2019 年度入試の総括と次年度対策のための意見交換会

2019 年度入試の総括と次年度対策のための意見交換を実施した。

ここでの意見交換をもとに、新年度の入試広報活動の基本方針を策定し、専任教員全員が目標・方針を共有した上で、実際の入試広報活動に臨む。

2) 2019 年度の1・3 年生に対するアセスメントテスト (PROG) の分析結果報告会

2019 年度に実施した1・3 年生に対するアセスメントテスト (PROG) の分析結果報告を受けて、学生の学修状況について理解し、授業改善に役立てるために開催した。

3) 入試区分別成績データに関する分析結果の報告と意見交換会

2020 年度入試の合格判定にあたって参考とするために、学部長から入試区分別成績に関する分析結果の報告を行い、意見交換を行った。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

全学的FDの取り組み

1) 新任教員のための研修会

新任教員全員が参加した。

2) 主体的学びについて

どうしたら学生が能動的自律的学習者になるか、について全学FD委員会で検討を重ね、それぞれのテーマで研修会を実施。教員の参加率は30~40%程度。

3) 他大学とのFD情報の共有

私立大学FD連携フォーラムに本学教職員が参加して、授業形態・授業時間の多様化への対応について情報交換を行い、他大学での取組み事例について全学FD委員会を通じて情報共有を行った。

4) 授業アンケートの見直し

平成29年度中に、アンケートの項目の見直し及び既存のシステム改修を終え、平成30年度前期から、新制度での授業アンケートを実施した。

5) 教員相互の授業参観における授業公開状況

【前期】

全学共通科目 …全教員、全科目公開

人文学部 …15科目公開

経済学部 …全教員、41科目公開

デザイン学部 …全教員、全科目公開

【後期】

人文学部 …13科目公開

デザイン学部 …全教員、全科目公開

経済学部 …全教員、39科目公開

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

近年は、徐々にではあるがFDの理解も高まり、教職員間でも必要性が認識されてきた。ただし、かならずしも十分とはいえないため、更なる全学的な取り組み、及び意識の向上に向けて、全学的な検証を進めることが必要である。引き続きFD活動を通じて意識改革を図ることに加え、全学的な体制も、状況に応じて見直しを行う。

またSDについては、従来より職員育成を推進する取組をしており、教職員問わず参加できるプログラムや学内プロジェクト（MI21）の中でも研修を実施してきた。ただし平成29年より大学設置基準で義務化されたことから、更なる推進に向けた学内定義の明確化が必要との認識を持っており、平成30年度に引き続き、令和元年度においてもコンピテンシーに基づいたe-ラーニングの実施を継続して取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を大学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に大学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年4月2日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると認定される（期間：平成23年度～平成29年度）。

・平成29年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると認定される（期間：2018年度～2025年度）。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程

平成21年4月1日
制 定

(趣旨)

第1条 この規程は、明星大学学則（昭和39年4月1日）第61条第2項、明星大学大学院学則（昭和46年4月1日）第49条第2項、明星大学通信教育部学則（昭和42年4月1日）第57条第2項及び明星大学通信制大学院学則（平成11年4月1日）第40条第2項に基づき、明星大学（以下「本学」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するための組織及び運営について、必要な事項を定める。

(FD活動の組織)

第2条 FD活動は、以下の組織単位で行う。

- (1) 全学で行うFD
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程で行う部局別のFD
- (3) その他、必要に応じて学科等で行うFD

(FD委員会の組織)

第3条 前条の目的を達成するために、以下の委員会を置く。

- (1) 全学FD委員会
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程等における部局別FD委員会
- (3) その他、必要に応じて置かれるFD委員会

(全学FD委員会の任務)

第4条 全学FD委員会の任務は、次の各号に定める通りとする。

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 全学的なFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (3) 新任教員に対する全学的なFD研修
- (4) 授業に関する学生アンケートの企画及び活用方法の検討
- (5) 部局によるFD研修への協力・助言
- (6) その他全学的なFDに関連する事項

(全学FD委員会の組織)

第5条 全学FD委員会は、次の各号に定める者をもって組織する。

- (1) 学長が指名する副学長
 - (2) 各学部の教務委員長
 - (3) その他、学長が指名する教職員 若干人
- 2 前項第1号及び第2号に定める委員の任期は、その職制にあるうちとする。
 - 3 第1項第3号に定める委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(全学FD委員会の運営)

第6条 全学FD委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、学長が指名した副学長とする。
- 3 副委員長は必要に応じて委員の互選により選出する。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 5 委員長に支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めたとき、委員会に委員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- 7 全学FD委員会の事務は、教務ユニットが行う。

(部局別FD委員会の任務)

第7条 部局別FD委員会の任務は、次の各号に定める事項とする。

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
 - (2) 授業に関する学生アンケートの部局における活用方法の検討
 - (3) その他部局のFDに関連する事項
- 2 部局別FD委員会について必要な事項は、各部局で定める。

(部局別FD委員会の組織)

第8条 部局別FD委員会は、各部局別に次に定める者をもって組織する。

- (1) 学部FD委員会
 - ア 学部長
 - イ 学部の互選により選出された者

- ウ 学部長が指名する当該学部所属教職員
- (2) 研究科FD委員会
 - ア 研究科長
 - イ 研究科の互選により選出された者
 - ウ 研究科長が指名する当該研究科所属教職員
- (3) 全学共通教育FD委員会
 - ア 全学共通教育委員会委員長
 - イ 全学共通教育委員会の互選により選出された者
 - ウ 全学共通教育委員会委員長の指名する全学共通教育委員会構成員
- (4) 通信教育部FD委員会
 - ア 通信教育課程長
 - イ 通信教育代表委員会の互選により選出された者
 - ウ 通信教育課程長が指名する教職員

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、大学評議会の議を経て、学長が定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、2020年4月1日から施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学部心理学科

設置の趣旨・目的

心理学部は、実践的教養としての心理学に関する専門的知識及び技能をもって社会に貢献できる人材の育成を目的としている。具体的には、①人間一般の特性を心理学的に評価・理解する技能・手法を身につけた人材、②社会集団の特性を心理学的に評価・理解する技能・手法を身につけた人材、③青年期・成人期を対象としたアセスメント及びカウンセリングの理論と技能とを身につけた人材、④幼児・児童を対象としたアセスメント及び臨床的介入の理論と技能とを身につけた人材を育成する。

この目的を達成するために、心理学部は、(a)人間科学、(b)産業・社会、(c) カウンセリング、(d) 発達支援の4つの履修モデル、及び、「心理学の専門知識に立脚した社会的・職業的自立」を促すキャリア形成科目を設置している。

また、これらの教育課程と平行して、心理学部では、心理学に関する学士レベルでの標準的基礎学力と技能との修得を証明する認定心理士及び認定心理士（心理調査）の資格を満たすことのできる教育課程を設けることにより、教育目的の達成を担保している。

さらに、平成29年に施行された公認心理師法に基づき、学部で修得すべき公認心理師受験資格に必要な公認心理師法施行規則で定められた科目にも対応し、教育目的の具現化を図っている。

定員充足状況

心理学部の1年次生の定員充足状況をみると、開設初年度の平成29年度で140名（定員の117%）、平成30年度で129名（定員の108%）、令和元年度で130名（108%）、令和2年度で127名（定員の106%）と、教育体制に見合った健全な教育環境を維持している。

また、定員120名に対する志願者数は、平成29年度で1,196名、平成30年度で1,466名、令和元年度で1,820名、令和2年度で1,680名となっており、開設以来、定員を大きく上回る志願者数を維持している。

令和2年度の入試の倍率は、推薦系入試で5.6倍、センター試験利用入試で3.5倍、そして、本学の一般入試で7.1倍となり、心理学部のアドミッションポリシーに合致した優秀な学生を入学させることができている。

教育課程の成果

教育の質にとって一つの指標となる離籍率(含:旧人文学部心理学科)をみると、開設初年度の平成29年度で2.7%、平成30年度・令和元年度で4.5%といずれも本学の平均以下であり、心理学部の教育課程・環境が学生の修学を十分に支えていることを物語っている。

さらに、今年度より学部の公認心理師科目である心理実習が開始されるが、これまでの公認心理師や臨床心理士の学外実習において、多くの医療機関、教育機関、福祉施設などとの優良な関係を基盤として、学部生の実習も十分に教育効果が期待できる体制を整えている。

総括評価と所見

以上に見たように、心理学部は、平成29年度の開設以来、その教育目的を十分に達成可能とする教育体制のもと、社会に貢献できる人材の育成を図ってきており、受験生や保護者から“選ばれる心理学部”として順調に成長してきている。

その成果は、令和2年度の心理学部最初の卒業生の就職によって試されることになる。しかし、Covid-19の感染拡大の影響により、日本経済が大打撃を受けている状況での就職活動は、まさに、心理学部が目指してきた教育理念の試金石となるろう。